

調査資料 第 6 9

集 団 移 住 地 現 況

昭和 4 1 年改訂版

昭和 4 1 年 1 1 月

海 外 移 住 事 業 団



国際協力事業団	
受入 月日 '84. 8. 10	600
	23.4
登録No. 02880	EM

(まえがき)

この資料は、41年5月に発刊された「中南米各集団移住地現況」(調査資料Ⅵ6.2)がその後現地事情の変移にともない改訂の必要にせまられ、ここに改訂したものである。

内容はできるだけ簡潔に各移住地の現況を要約し、一目で概況の把握ができる様式にした。

本資料が移住実務担当者のための参考資料となれば幸いです。

JICA LIBRARY



1019621[0]

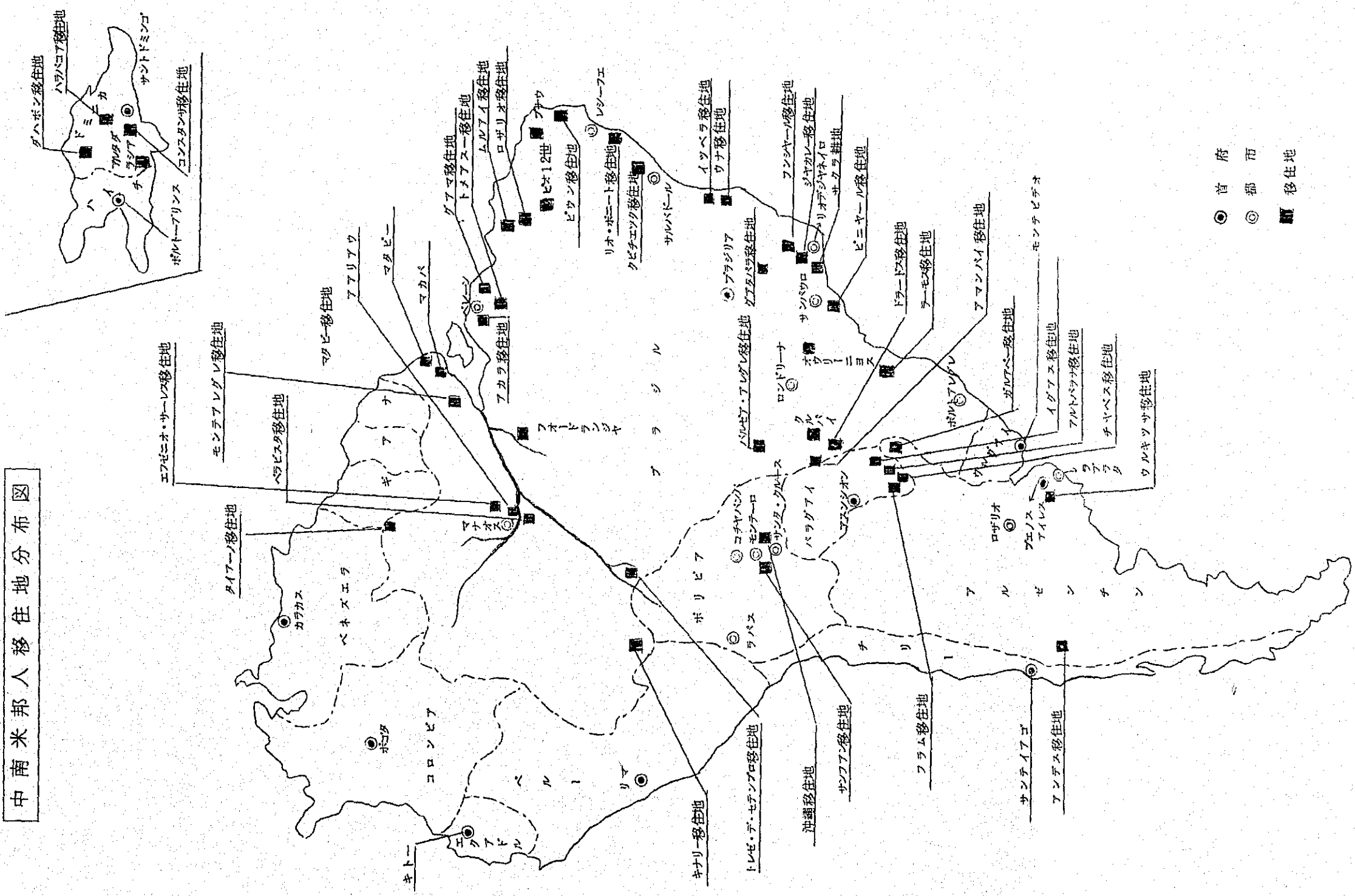
昭和41年11月

業 務 才 二 部

目 次

ブラジル国北伯	1
南 伯	45
アルゼンチン国	66
パラグアイ国	72
ボリビア国	82
ドミニカ国	84

中南米邦人移住地分布図



ブラジル国北伯

地区名	第2トメアス
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	事業団ベレン支部

1. 地区概要

自然条件	位置	ベレン市より南水路240 Km のトメアス港より南東陸路46 Km S 1° 50' W 48° 50'
	地形	標高11~30 m (平均20 m) 概ね平坦地区内をアカラ河の支流クツユ川及びアカラ, ミリン川が横断している。
	地質, 土壌	ラテライト系の肥沃度中程度の土壌で表土は比較的有機質に富む暗灰色砂壤土, 堆積土
	植生, 林相	熱帯性原生林に覆われ, アカブマサランドウバ, ジャラナーその他の有用材も若干混在している。
	気候	熱帯性の高温多湿なるも(年間平均28.4°C 1964年) ベレン周辺よりは乾湿の変化が顕著である。雨期は12~5月, 乾期は6~11月

社会条件	交通	本地区からトメアス港まで約46 Km, 港よりベレン市までは水路で240 Km, 組合経営の定期船が就航している他, テコテコ機が毎日ベレン~トメアス間を往復している。直線120 Km 目下BR-14 国道までの90 Km 道路が計画されている。
	市場	永年作物ビメンタはベレン港を経て国内市場を充し, さらに北米, ヨーロッパ及びアルゼンチン等に輸出されている。
	医療, 教育	診療所は植民地内にあつて41年10月頃より医師常駐の予定である。小学校は植民地内に1校(41年度更に1校建設する)あり, トメアス町内に中学校がある。
	貸与物件	トラック, トラクター, トレーラー, 精米機

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	現地入植者	合 計	定着戸数
戸 数												6	2	5	13	37戸		50
総面積	25,800 Ha																	
ロンテ面積	25 Ha																	
土地価格	一括払い 230,000 分割払 292,100																	
支払条件	分割払の場合は頭金23,000、4年据置3年年賦 年賦金額8,970																	

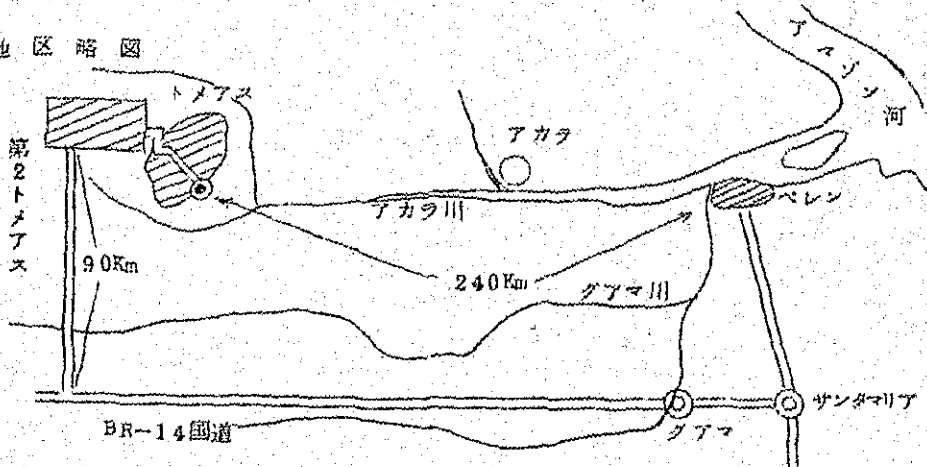
3 営 農

主 作 物	永年作物ビメンタ 短期作物、マンジヨカ
営 農 の 方 法	ビメンター辺倒の経営方式から畜産導入等による多角経営方式に移行すべく研究中である。
	ビメンタ植付本数154,250本、41年度収量予想150ton
	稲植付面積92H ₂ 、40年収量120ton

4. 特記事項及び問題点

本入植地はビメンタを主体にその増産を目的として建設された、アマゾン地域唯一の事業団直営移住地であり、イグアスと並んで重点移住地として推進中である。

5 地区略図



地区名	トノアス
移住形態	自営開拓農(トノアス一産業組合)
受入世話機関	事業団ベレン支部

1. 地区概要

自然条件	位置 地形 地質、土壌 植生、林相 気候	第2トノアスに同じ
------	----------------------------------	-----------

社会条件	交通市場	第2トノアスに同じ
	医療、教育	植民地内に診療所があり、医師2名の定期的巡回診療を行なうほか看護婦3名が診療に従事している。 小学校3校、中学校1校が植民地内にある。
	その他	文化会館が41年1月落成し、毎週金、土曜日、日本映画を上映している。 郡営施設として総工費50,000コートを投じて建造されていたトノアス港棧橋が41年1月完成した。

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数		29	77	71	6	6	6	6	80	85	4	1	1		272	432戸 2214名
総面積																
ロツテ面積																
土地条件																
支払条件																

註) 定着戸数は戦前移住者、雇用移住者の独立、分家、他移住地からの転耕者を含む

3 営 農

主 作 物	第2トメアスに同じ
管敷のすすめ方	

4 特記事項及び問題点

昭和4年南米拓殖株式会社の開墾地として完足、戦前852家族の入植をみたが當農上の失敗やマラリアの発生等により退耕者多く、89家族が定着、戦後ビメンタの栽培に成功、飛躍的発展を遂げた。現在5000tonを生産し、北米、ヨーロッパ、アルゼンチンに輸出している。当開墾地の雇用移住者は昭和28年度より受け入れられたが、一時新旧移住者の相克が生じ退耕者を出した。現在開墾地の富強並びに生活を学ぶ意味において、独立までの一期間雇用移住者として就労するものが増えてきた。雇用移住者は、独立資金を就労資金のみで貯蓄することは困難であるが、原用主の援助或いは、事業団教育等により比較的順調に独立の課程を辿っている。

5 地区略図

第2トメアス地区参照

地区名	アカラ
移住形態	自営開拓農（ペルー州政府）
受入世話機関	ベレン支部

地区概要

自然条件	位置	ベレン市より水路120Kmの地点にあるアカラ町より西南方へ22Kmの地点 1° 16' S 48° 25' W
	地形	第8紀腐段丘地域で平坦な段丘面と段丘をきざむ谷からなる地帯である。
	地質、土壌	地質は、砂岩、頁岩、土壌はラテライト化土壌
	植生、林相	熱帯林で有用材アカプー、カスタニア等巨木が発生する。
	気候	年間平均気温25.6°C、関係湿度85.3% 年間降雨量3077.5mm
社会条件	交通	ベレン市よりアカラ町まで小型船が往復している外、テコアコ（軽飛行機）の発着所がある。アカラ町から入植地まで州道が通じている。
	市場	アカラ町は人口5000人程度のため、ベレン市を主な消費市場としている。
	医療、教育	入植地内に小学校が2校ある。アカラ町に診療所があるが、医師は常駐していない。看護婦1名が駐在。
	貸与物件	トラック、トラクター、トレーラー、精米機、製材機

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数								8	20		2				29	29戸 163名
総面積	25Ha~100Ha															
ロット面積																
土地価格																
支払条件																

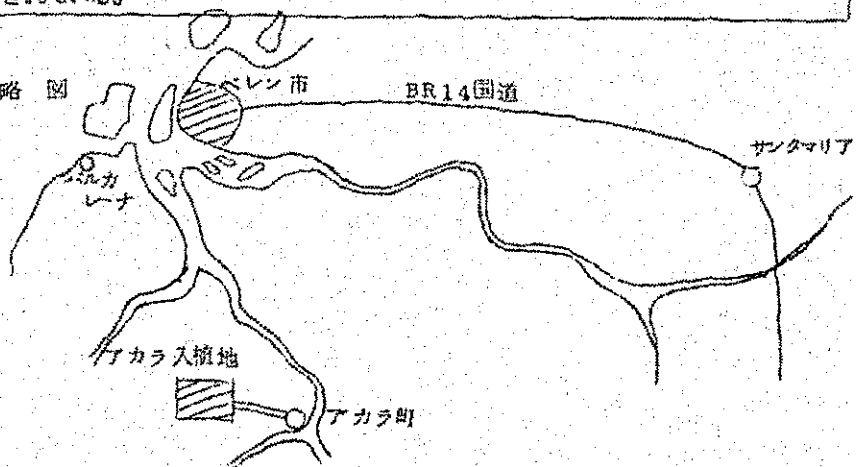
3 営 農

主 作 物	永年作物ビメンタ、短期作物 米、マンジョカ、蔬菜
営 農 状 況	ビメンター本の営農形態から、永年作物としてクマルー、果樹類、短期作物として大豆、養鶏を取り入れつつある。

4 特記事項及び問題点

当入植地はアカラ郡の好意と積極的導入によつて州有地の無償払下げを受け、入植したもので、当支部管内では第2トメアスを除き唯一地権が交付されている。アカラ産業協同組合は任意組合であるため、販売面において不利な税金を徴収されるため、トメアス産組に吸収される方法が検討されている。

5 地区略図



地区名	グアマ
移住形態	自営開拓農(連邦政府)
受入世話機関	ベレン支部

1. 地区概要

自然条件	位置	ベレン市より南方グアマ河に沿い上流48Km, 陸路75Kmの地点より始まる。
	地形	標高0~20mアマゾン河支流, グアマ河左岸の低湿な氾濫原であるが, 河との間に自然堤防ができています。この奥は標高数米の高台。
	地質, 土壌	氾濫原の土壌はアマゾンバルセアの沖積土壌, 高台の方は洪積層のテラファイルメで砂質土壌である。
	気候	最高気温31.8°C, 最低平均22.2°C, 湿度85~90%, 年平均降雨量2186mm
社会条件	交通	タカソヨース地区及びベルナンブコ地区へは陸路交通の便あり, 水路は定期的にベレン~グアマ間に船便がある。
	市場	アマゾン流域最大のベレン市を消費市場としている。野菜, 果実類を週週1~2回ベレン市へ出荷する。
	医療, 教育	入植地内には小学校3, ベレン市には総合大学まである。入植地内に診療所はあるが, 看護婦のみにて医師は常駐していない。
	貸与物件	トラック, トラクター, 木造船3

2 入植状況

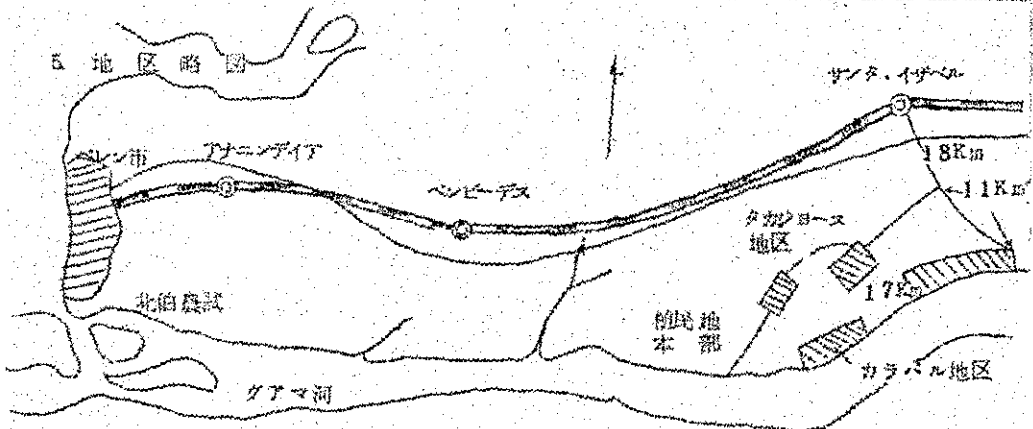
年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数					31	97		1	1	1					131	47戸 258名
総面積	32510Ha															
ロッテ面積	2.5Ha															
土地価格																
支払条件																

3 営 益

主 作 物	永年作物ビメンタ、ゴム、カフエ、短期作物 米、野菜
営 益 状 況	本人京地は水稲栽培を計画したが台風がこのための工事を施工しなかつたため、野菜栽培に切り換え、一部水稲、高台ではビメンタ等永年作物の栽培を行っている。

4 特記事項及び問題点

入植当初多数の退耕者を出したが甘藷の栽培に成功して以来ベレン市場を独占することとなつたが蓬莱米の導入により水田においても成功した。カラバル地区は甘藷一本の信託であり、農薬中毒や、低湿度のため衛生上の問題がある、蓄積した資金をビメンタに投資するよう指導しており2~3年のうちには高台地区へ転出することとなる。



地区名	ロザリオ
移住形態	自営開拓農(マラニオン州政府植民地)
受入世話機関	ペレン支部

1 地区概要

自然条件	位地	サンルイス市より南方80 Km 92°58' W44°1'
	地形	標高8 m一般に起伏ゆるやか平垣に近い、一部高地がある。
自然条件	地質、土壌	土壌は沖積層からなる粘土(小石が多い)から微砂質のものである。
	植生、林相	一般にパパスー椰子の疎林であつて、パパスー椰子のない処は灌木類が自生している。
自然条件	気候	年間平均気温26.8°C, 最高気均31.7°C, 最低平均23.6°C, 年間降雨量1,818 mm, 湿度80%, 雨期11~4月, 乾期5~10月
社会条件	交通	サンルイス市よりBR 22 国道につながる8 m巾の道路が入植地入口より8 Kmの地点を通過している。
	市場	ロザリオ市(人口8,000)及びサンルイス市が市場である。
社会条件	医療、教育	学童全員ロザリオ市に通学。 診療所はロザリオ市の施設を利用している。

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数									19						19	18戸 65名
ロザリオの外サレタフエを含む																
総面積	600Ha															
ロッテ面積	80Ha															
土地価格																
支払条件																

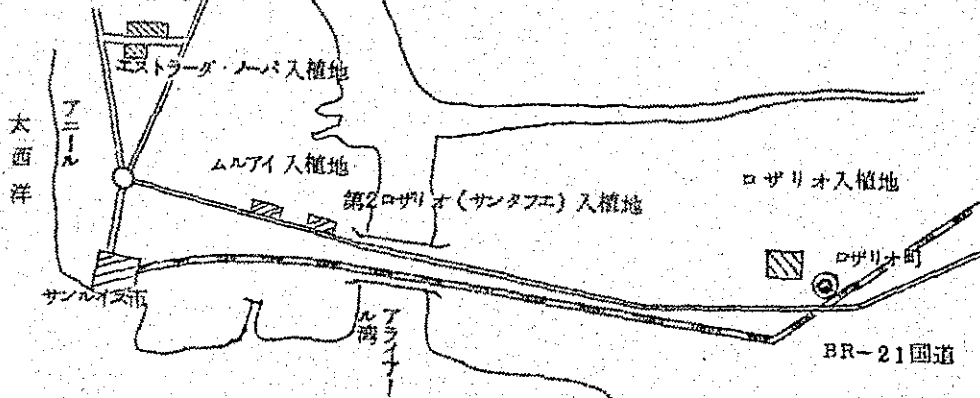
3 営 農

主 作 物	永年作, ビメンタ, コーヒー, パナナ, 短期作米, マンジョカ, 野菜
営 農 状 況	蔬菜栽培による現金収入で生活を安定させ逐次永年作物, 主にビメンタを植付けるよう指導しているが, 支柱不足のため, なお研究の余地がある。

4. 特記事項及び問題点

乾期における水源枯渇と高台は砂地が多く耕作困難なため5家族がエストラーダ・ノーバに, 6家族がサントフエに転住した。
 蔬菜(トマト)の連作による害に対する対策と, ビメンタ栽培の確立が当面の問題である。

5 地区略図



地区名	ムルアイ
移住形態	自営開拓農 (マラニオン州政府)
受入世話機関	ベレン支部

地区概要

自然条件	位置	サンルイス市南方30Km (S. 2° 31', W 44° 16')
	地形	標高4m, ロッテ内には緩斜面もあるが一般に地区内台地状の平坦地である。
	地質、土壌 植生、林相	地質は第3紀層の砂岩、黄岩よりなり礫混り砂土又は粘土、pH 4。 地区の2.0多は原始林で主として直径300m程度のミリチー子の疎林であり、8.0多は3~7年生の再生林である。
	気候	最高平均33.5°C、最低平均気温21.5°C、年平均26.5°C、湿度平均80%、年間降雨量1818mm
社会条件	交通	サンルイス市よりBR 25国道に続く整備された道路が入植地内を貫通している。
	市場	マラニオン州首府サンルイス市が市場となる。
	医療、教育	入植地内に小学校はない。全員サンルイス市に通学している。 医療もサンルイス市の施設を利用している。
	貸与物件	トラック、発電機

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数										10					10	12戸 69名
総面積	110Ha															
ロッテ面積	10Ha															
土地価格																
支払条件																

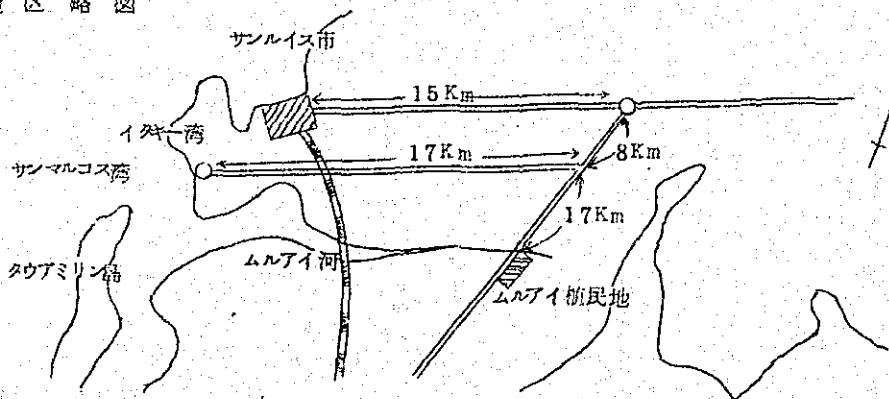
3 営 農

主 作 物	蔬菜栽培に養鶏を加味した典型的都市近郊農業の経営形態である。
営 農 状 況	養鶏は飼料の高値から放棄する家族が続出し、現在は5,000羽程度である。トマト単作地帯と言つてもよい。

4 特記事項及び問題点

<p>本入植地は立地条件もよく、現金収入が多い。</p> <p>現在は全家族トマトを栽培しているが、病害の発生、連作の問題とも関係し、今後の営農方針を確立する必要がある。</p>

5 地区略図



地区名	マタピー
移住形態	自営開拓農(アマパー直轄州政府)
受入世話機関	事業団, ベレン支部

1 地区概要

自然条件	位置	マカパー市の北北東120 Km (S 0° 1', W 51° 2')
	地形	花崗岩や片麻岩, その他の古期岩類の石礫からなる洪積世の石礫層の台地は極めて平坦, 谷の部分にのみ急傾斜である。
	地質, 土質	土壌は砂礫質のラテライト化土, pH 4.2, テーラ・ファイルメ地である。
	植生, 林相	草地帯から森林地帯への転換期にある。
	気候	平均気温 25.5°C, 関係湿度 80%, 年間降雨量 3,000 mm.
社会条件	交通	マカバより入植地までは草原で, 各都市との連絡は比較的管理されているが, 雨期には交通不能になる事が多い。マカバとセーラナグイウ鉾山間 230 Km に ICOM I 鉄道があり, 本入植地はその中間にある。
	市場	消費市場マカバ市人口約 25,000 人
	医療, 教育	マカバ市には教育, 医療の諸設備が完備されている。

2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数		29	21			1	1		3						55	6戸 84名
総面積	4,875 Ha															
ロッテ面積																
土地価格																
支払条件																

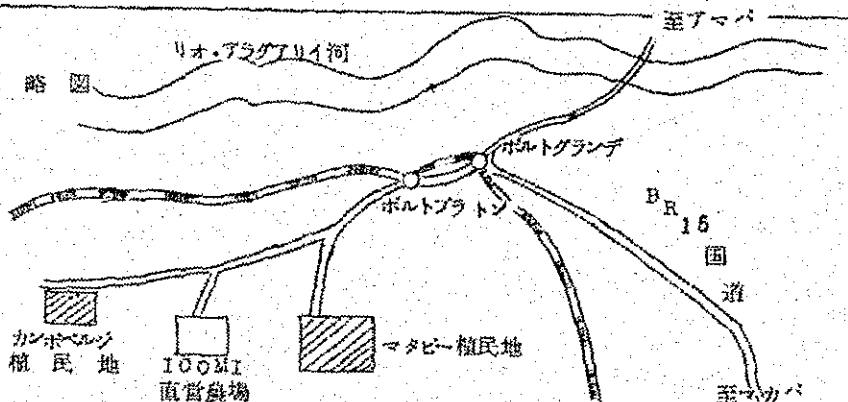
3. 営 農

主 作 物	永年作物、ゴム、ビメンタ、コーヒー、短期作物 米、マンシヨカ、蔬菜
営 農 状 況	入植当初はゴムを主体としていたが、近年I C O M I 鉱山従業員の需要の増大により蔬菜栽培、養鶏に移行しつつあり、永年作物としてビメンタが主体となりつつある。

4. 特記事項及び問題点

入植当時ゴム植付を強制され、資金的に行きづまつたためと、人の和を欠き多数の退耕者を出したが、残留している者は年々I C O M I の需要増大により安定しつつある。ゴム樹が採液可能になってきたので、採算ベースにあつた採液体制を入植者同志で考えねばならなくなつてきた。

5. 地区略図



地区名	カンボベルジ
移住形態	自営開拓農(アマバ直轄州政府植民地)
受入世話機関	事業団, ベレン支部

地区概要

自然条件	位置	マカバより130Km (S 0° 58' , W 51° 51')
	地形	標高100m波状形で、概ね北から南へ傾斜している。
	地質, 土壌	花崗岩, 雲母片岩, 石灰岩を母岩とした砂質土壌又は地質土壌。
	植生, 林相	闊葉樹の多い原生林で僅かに再生林がある。 直径50cm以下の樹木が多い。
	気候	年平均最高気温34.8°C, 最低平均22.8°C, 年間降雨量2690.7mm
社会条件	交通	マカバ市まで、鉄道及び道路が通っている。 マカバ市よりベレン市までは、ほぼ毎日航空機の便あり。
	市場	マカバ市が消費市場であり、I O O M I 関係の備蓄もひびいている。
	医療, 教育	最近入植者の手により入植地内に小学校が設立された。 医療はマカバ市の施設を利用している。二世の同部医師(州立病院勤務)が事業団の要請に応じ巡回している。
	貸与物件	木造船, トラック, 積込機

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数											6	1			7	4戸 23名
総面積	300Ha															
ロジテ面積																
土地価格																
支払条件																

3 営 農

主 作 物	永年作物ゴム、ビメンタ、短期作物米、マンジョカ、蔬菜
営 農 状 況	I O O M I 鉱山の食料、蔬菜の需要が多いため、当面は米、野菜栽培を主体としているが、将来に備えビメンタ、クマール果樹類の栽培に移行する営農方針をとっている。

4 特記事項及び問題点

<p>当地は柑橘類に向いており、購買力のあるI O O M I 鉱山従業員を目的として、イチジク、ドラングヤ、ボンカン、晚柑油、西瓜等の増産を計り、上等品を納入する様にしたら、数年を経ずして安定した植民地になる。</p> <p>又近くにアマバ産業開発会社(C O P R A N)が発足し600Haを甘蔗植付のため伐木し、将来は精糖工場も併設したい意向で、日本人入植者にも甘蔗栽培の協力を求めている。</p>

5 地 区 略 図 マタビーの項参照

地区名	モンテアレグレ
移住形態	自営開拓農(連邦植民地)
受入世話機関	ベレン支部

1. 地区概要

自然条件	位置	パラ州モンテアレグレ郡モンテアレグレ町より88Km (S 2° W 54)
	地形	一般に起伏が多く、中に標高800mのイタジュリー山があり、2, 3の小流曲流し、丘陵地の間に平地地がある。
	地質, 土壌	地質は頁岩, 石灰岩及び輝緑岩が母材となっており、地味良好 pH 6~6.5
	植生, 林相	モンテアレグレ町付近は、第三紀層とデヴォン系との接触地帯に沿って半広葉から草地への漸移地帯がある。奥地に入るに従ってよく繁茂した森林が広がっている。
	気候	年間平均27.6℃, 最高36.3℃, 最低18.5℃ 年間降雨量2032.3mm (1959年) 雨期1~6月乾期7~12月

社会条件	交通	モンテアレグレ町はベレン〜マナオス間商業用船及び航空機の寄港地になつている。 道路は入植地入口附近より悪路となり雨期は交通不能になることがある。
	市場	モンテアレグレ町は人口1万程度なのでサンタレーン市, マナオス市及びベレン市が主な消費市場となる。
	医療, 教育	モンテアレグレ町にある病院を利用している。対岸のサンタレーン市には総合病院がある。 入植地には小学校1, モンテアレグレ町には州立小学校1及び教会立小学校2, 中学校2校がある。学童数, 小35, 中16
	貸与物件	トラック, トラクター, 糞米機2

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数		28	43	59			1								126	25戸 142名
総面積	360,000 Ha															
ロット面積	30 Ha															
土地価格																
支払条件																

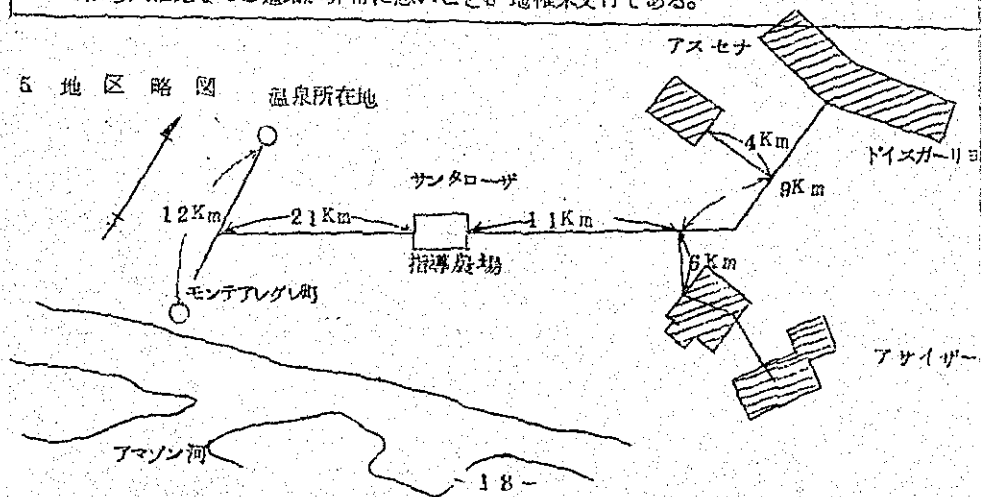
3. 営 農

主 作 物	永年作ビメンタ、カカオ、ゴム、短期作 米、トウモロコシ、フエシヨ ン
営 農 状 況	雑作主体から永年作（ビメンタ）、畜産導入の方向に変わりつつある。 主な作物40年度収量 ビメンタ 44 ton 米 40 ton ミーリオ 64 ton 牛600頭、馬40頭 41年度より事業団から移管された農場を共同牧場として活用すべく計 画している。

4. 特記事項及び問題点

町から入植地までの道路が非常に悪いこと。地権未交付である。

5 地区略図



地区名	ベラビスタ
移住形態	自営開拓農（連邦植民地）
受入世話機関	事業団，ベレン支部

地区概要

自然条件	位置	マナオス市より植民地本部まで約100 Km (83°08', W 80°0')
	地形	第8紀段丘地域で平坦な段丘面と段丘をきざむ谷，比高12-20m
	地質，土壌	傾斜急，地質は第8紀層の砂岩，頁岩段丘をきざむ谷底の沖積層土壌はラテライト土，ラテライト土砂質，崖端はテラ・プレートである。pH 4.2，テラフィルメ地帯である。
	植生，林相	直径1 m以上の巨木が散在しているところもある。
社会条件	気候	年間平均気温 31.4℃，最高温 37.8℃，最低温 22.6℃，年間降雨量 2100 mm
	交通	植民地本部よりマナオスまで40哩（小型船で8時間），カカオベレイラよりアリアウ地区までは8 m市州道が通っており，事業団貸与のトラックが往復している。
社会条件	市場	消費市場マナオス市人口20万，ボリビア，ペルー，コロンビア及びベネズエラ諸国への貿易が行われている。 主な取引物，天然ゴム，ジュエータ，木材，皮革，植物性油脂，鉱物資源（石油）
	医療，教育	移住者中INDAの委託を受けて衛生業務を担当するもの1名。植民地本部に診療所があるが，マナオスの施設を利用している。 コロニア中央に小学校1，アリアウ2区に分校1，生徒51名，教師8名。中学（ベレン，マナオス，サンパウロ）在学14名 INDAがコロニア内に2校新築中

2. 入植状況

年 度	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	現 地 入植者	合 計	定着戸数
戸 数	24	102								14	1			141	14	155	46戸 (268)
総面積	1,500 Ha																
ロツテ面積	30 Ha																
土地価格																	
支払条件																	

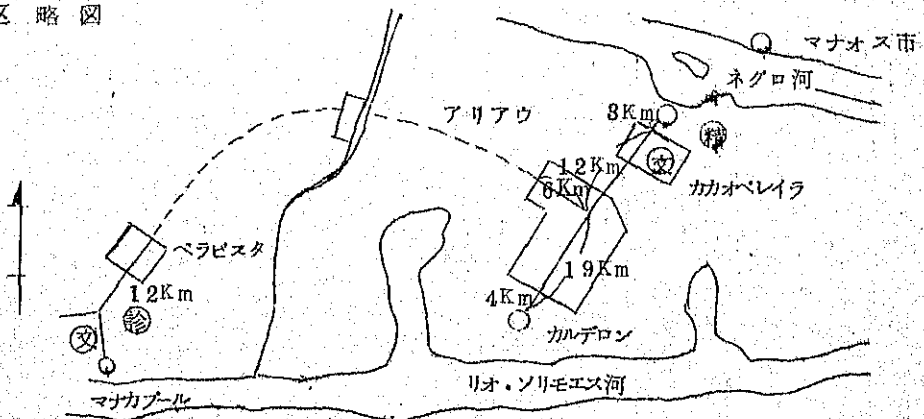
3. 営 農

主 作 物	永年作物ゴム、コーヒー、ビメンタ45,000本—家族平均1,000本、果樹、ココヤシ、短期作物米、豆、マンジョカ、野菜類
営農状況	従来グアラナ及びゴム栽培を行い、未だ標準的営農類型の確立を見ていないが、徐々にビメンタ、養鶏を基幹とした営農方向をとりつつある。ビメンタ46,880本、グワラナ47,000本、ゴム58,500本、カフェ18,000本、柑橘8,000本、鶏4,000羽、46戸のうち28戸が組合員

4. 特記事項及び問題点

組合運営が遅れており、この指導育成が必要である。

5. 地区略図



地区名	エフゼニオサーレス
移住形態	自営開拓地 (アマゾン州政府植民地)
受入世話機関	ベレン支部

地区概要

自然条件	位置	マナオス市より42Km (S 3° 1' , W 60° 0')
	地形	一般に起伏多く、中には急傾斜地もある。テラ・フィルメ地である。
	地質、土壌	地質は第3紀層中にあり、黄色の粘土質、低地は砂質土壌
	植生、林相	カストニヤ樹その他、直径1m以上の巨木が処々に点在している。
	気候	年間平均気温27.4°C, 最高気温36.3°C, 最低気温20.5°C 年間降雨量1,940.4mm

社会条件	交通	植民地内には、マナオス、イタコチアラ道路が通じており、アスファルト舗装である。事業団貸与のトラックが往復している。その他1日に2~3回のバス便が往復している。
	市場	消費市場、マナオス市人口20万、ボリビア、ペルー、コロンビア、ベネズエラ諸国への貿易が行われている。 主な取引物、天然ゴム、ジュエータ、木材、皮革、植物性油脂、鉱物資源、石油
	医療、教育	植民地内に診療所なく、マナオス市の病院にて治療。事業団嘱託医が年2回以上巡回診療を行行。CEM採血員1名、州立小学校1.52キロ地点に分校1、邦人子弟57人、教師5人 中学 (ベレン、マナオス、サンパウロ) 在学数29名

2 入植状況

年 度	33	34	35	36	37	38	39	40	計	現 地 入 植 者	合 計	定着戸数
戸 数	17 (108)	6 (30)	16 (95)	17 (95)	2 (9)	2 (5)			50 (352)	5 (7)	65 (359)	59戸
総面積	575 Ha											
ロッテ面積												
土地価格												
支払条件												

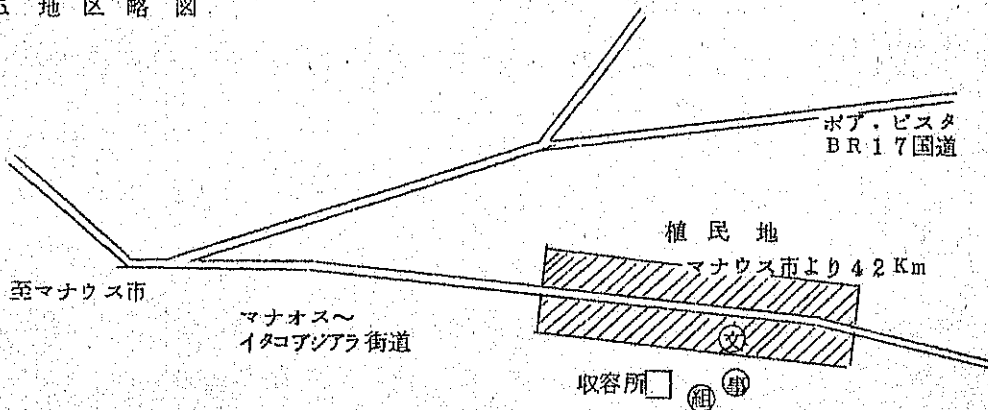
3 営 農

主作物	永年作物,ゴム,ピメンタ,グワラナ,果樹,短期作物,野菜,米,マシヨンカ
営農状況	基幹作物はピメンタであり、肥料の自給併せて、現金収入も狙い、養鶏を導入、又、雨期における野菜栽培。 ピメンタ88000本,鶏18000羽

4 特記事項及び問題点

<p>三井物産のあつせんにより前年からピメンタ45-tonを輸出することになった。 アマゾン州でもこのことは注目しており、州産業開発のため輸出税の5.0%減額等特典を与えている。</p>

5 地区略図



地区名	タイアーノ
移住形態	自営開拓農(ロライマ直轄州政府植民地)
受入世話機関	ベレン支部

1. 地区概要

自然条件	位置	ポアピスタ市より9.4Km (S 3° 0' 5" W 60° 40')
	地形	周囲は200~300mの山地, 比高数10mの残丘地
	地質, 土壌	塩基性岩及び花崗岩の風化した赤漂白化土(粘土質)で微量の鉄分を含むテラロシア地帯である。pH 6.8
	植生, 林相	鬱蔽度は中位, サウアナ地帯の森島に展開する地域であり樹種はフレイジョー, シュタイア, タワリ等, 胸高直径2m程度の大木で建築材, 家具材として重要視されている。
気候	年間平均気温27.7°C, 最低気温21°C, 最高気温33.7°C 年間雨量2,462mm	

社会条件	交通	ポアピスタ市より陸路9.4Km, 橋が完成したため雨期も通行可能, マナオス~ポアピスタ間道路建設中
	市場	消費市場, 州首府ポアピスタ市人口1万8千
	医療, 教育	診療所はないが, 救急薬品は常備している。日本で保健婦の経験者がいる。入植地中心部に小学校が1校(21名)ある教師は伯人2名, 生徒教日系人12名, 現地人30名, ポアピスタ市には病院, 中学校, 師範学校, 発電所等がある。
	貸与物件	トラック, トラクター, 精米機

2. 入植状況

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	現地入植者	合計	定着戸数
戸数										9 (62)					9 (52)	18 (56)	22 (108)	9 (68)
総面積	2,000 Ha																	
ロット面積	30 Ha																	
土地価格																		
支払条件																		

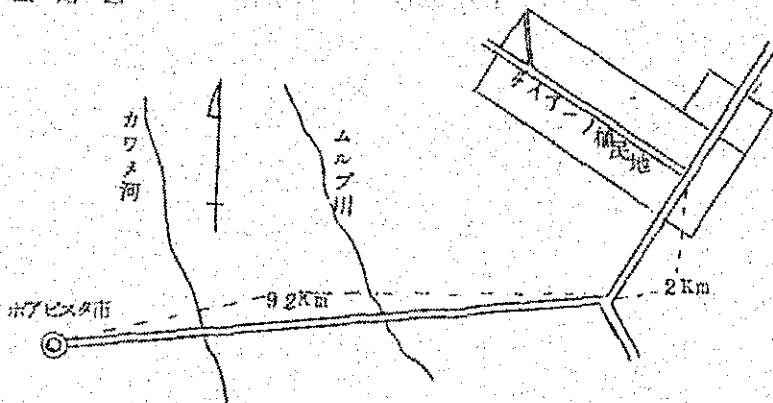
3. 営農

主作物	永年作物ビメンタ, 短期作米, マンジョカ, トウモロコシ, 豆, 落花生
営農状況	米, マンジョカ, ミーリヨ, 豆等を主体とする雑作農の形態である。市場で問題があるが, 比較的地味肥沃であり, 自給体制確立可能, 現状は低位安定の方向, 永年作としてビメンタ3000本植付

4. 特記事項及び問題点

<p>本入植地の根本的欠陥は市場の小さいことと産期の長い事である。対策として共同牧場の勧奨とマナオス市への出荷研究を行っている。</p> <p>国境地帯にあるため地権の交付が困難である。(仮地権のみ)</p>

5. 地区略図



地区名	トレゼ・デ・セテンブロ
移住形態	自営開拓農(ロンドニア直轄州政府植民地)
受入世話機関	ベレン支部

1. 地区概要

自然条件	位置	ポルト・ベリーヨ市より9 Km (S 8° W 63°)
	地形	第3紀層段丘地域で平坦な段丘をさざむ谷, 比高12~20m, 急傾斜である。
	地質, 土壌	地質は第3紀層の砂岩, 頁岩, 段丘をさざむ谷底の沖積層, 土壌はラテライト化土pH 4.2, 砂質土, 崖端にテラ, プレータ, 黄色土等である。テラフィルム地帯。
	植生, 林相 気候	熱帯性多雨林で30m程度の巨木の密生する原始林。 年間平均気温25.6°C, 最高温38.3°C, 最低温15°C 年間雨量229±1mm

社会条件	交通	ポルト・ベリーヨ市より植民地入口まで9 Km, 邦人耕地まで11 Km, 事業団貸与トラック1台が市と植民地を(定期1週2回)往復している。道路は他の移住地に比して良好, BR 29国道の開通。
	市場	消費市場, 州都ポルトベリーヨ市, (人口約2万) マナウス市(人口20万)までは航路約1,500 Km, ゴム, カスタニャを集散し, アマゾン州マナウス市と取引がある。
	医療, 教育	コロニア内に医療施設はないが9 Km離れたポルト・ベリーヨ市の医療施設を利用している。 小学校1, 教師1, 生徒46, 中学(ポルトベリーヨ)2名, 小学校中, 高学年生徒は組合トラックにてポルトベリーヨ市内小学校へ通学。

2 入植状況

年度	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	現地 入植者	合計	定住 戸数
戸数	29 (180)							2 (10)					31 (19)	4 (14)	85 (204)	22 (15)
総面積	1,750 Ha															
ロツク面積																
土地価格																
支払条件																

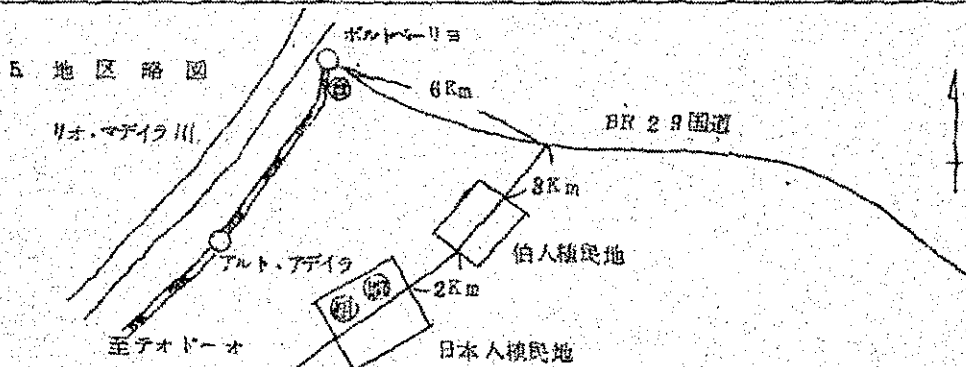
3 営 農

主作物	永年作物ゴム、コーヒー、ビメンタ、柑橋、バナナ、短期作物米、玉ネギ、豆、マンジョカ、野菜
営農状況	養鶏を主体、BR29国道開通により南伯方面の鶏卵と対抗しなければならぬ懸念もあるが、今のところ心配はない。 ビメンタ2万本、前年生産高15,000kg、鶏8,000羽、ゴム50,000本

4. 特記事項及び問題点

BR29国道活用による南伯方面への市場開拓が期待される。
入植後10年を経過した入植地としては、住居が貧弱であり、この点生活環境の面から指導している。

5. 地区略図



地区名	キナリー
居住形態	自営開拓農（アグレ直轄州政府植民地）
受入世話機関	ペレン支部

1. 地区概要

自然条件	位置	リオ・ブランコ市東方28Km (S 9° , W 67°)
	地形	極めて平坦な波状地、小川が数本地区内を流れている。
社会条件	地質、土壌	地質は第3紀層、黄色の粘土、場所によりテラ ロンア地帯がある。 地味肥沃、一般に酸性。
	植生、林相	年間平均気温25.3°C、特殊気象（アンデス山脈より吹下す寒風が乾期に時々訪れる。） 年間平均雨量1,679mm
社会条件	交通	本植民地より、リオブランコ市まで28Kmで、毎日バスが往復している。乾燥期の5月より12月までは比較的よい。又1月より4月までの雨期においても、特に交通困難ということはない。
	市場	消費市場、アグレ州リオ・ブランコ市、人口2万人で、雨期は200t級船が来航するが、乾期は減水のため小型船しか来航しない。
	医療、教育	コロニア内に小学校開校せず、未就学児童若干あり、リオ・ブランコ市内に寄宿せしめ通学させているもの2家族 中学在学者なし コロニアより8Kmの地点に都立診療所あり、邦人看護士常駐、但しあまり利用していない。

2 入植状況

年 度	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数	18 (94)							18 (94)	5戸 (87)
総面積	1,500Ha								
ロッテ面積	30Ha								
土地価格									
支払条件									

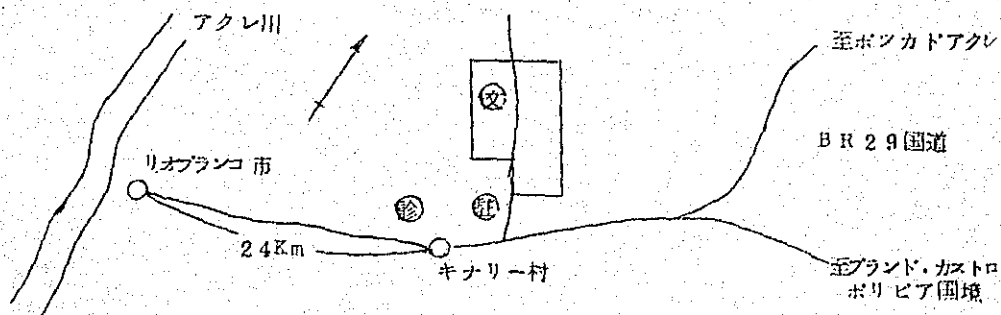
3 営 農

主作物	ゴム, カフェ, カスタニア, ビメンタ, 果樹類, 米, ミーリオ, 豆, マンジヨカ
営農状況	米, ミーリオ, マンジヨカを主とした雑作, リオ・ブランコ市を市場とし, 販売, 生産とも順調, 低位の安定に向いつゝあるものと思われる。 ビメンタは試作中, ゴム15,000本, カフェ15,000本, 各戸平均3~4頭の役肉牛

4. 特記事項及び問題点

農業経営の問題より経済環境としての生産物の市場関係及び交通輸送関係に問題がある。
入植者間の和に欠けているため農協も解散したことは憂慮すべき事である。

5 地区略図



地区名	エストラダノーバ
移住形態	自営開拓農(マラニオン州政府植民地)
受入世話機関	ベレン支部

1. 地区概要

自然条件	位置	サンルイス市より28 Km (S 2° 15' W 44° 8')
	地形	入植地中央部に巾5~7 m, 長さ800 m位の低湿地がある。この湿地を中心として南北になだらかな傾斜をなしている。標高4 m
	地質, 土壌	総体に砂質であり表層は腐植質に富む
	植生, 林相	再生林でパブスーが相当多数あり他は灌木程度
気候	平均26°C 最高平均33°C 最低平均21°C 年間降雨量2,700 mm 乾期7~12月 雨期1~6月	

社会条件	交通	サンルイス市まで25 Km
	市場	サンルイス市が消費市場となる
	医療, 教育	学校, 医療ともサンルイス市の施設を利用する。
	貸与物件	なし

2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数											8	2			10	10戸 51名
総面積	180Ha															
ロット面積																
土地価格																
支払条件																

3. 営 農

主 作 物	永年作ビメシタ、ココヤシ、果樹類、短期作物米、マンジヨカ、野菜
営農状況	サンルイス市へ出荷する野菜を主として現金収入を得ている。

4. 特記事項及び問題点

<p>本入植地はロザリオ及びビオ12世入植地より各4戸転耕した計8戸により、37年に設立された。</p> <p>マラニオン州各入植地共通の問題であるが、永年作物をとり入れた営農形態の確立に未解決の問題がある。</p>

5. 地 区 略 図

ロザリオ入植地参照

地区名	ピオ12世
移住形態	自営開拓農 (連邦政府)
受入世話機関	レンソーフェ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	S 4° 10' W 88° 48'
	地形	標高 30~40m の高台地, 緩傾斜地, 低地よりなる大きな波状地形。
	地質, 土壌	花崗岩系の母岩からなる堆積土又は砂質土。
	植生, 林相	既基地 550Ha の他, 森林貯水池, 荒地が存在する。
気候	最高平均 29.3°C, 最低平均 24.3°C, 雨量年平均 800~1,000 mm, 乾期 8~1月, 雨期 2~7月	

社会条件	交通	本入植地はフォルトレイザ市よりパライバ市に至る鉄道の途中駅ガイウバ町西方 8 Km にある。 フォルトレイザ市 (セアラ州の州都人口 60 万) が市場である。
	医療, 教育	地区内に小学校, 診療所はない。 ガイウバ町には医者が居り, フォルトレイザ市には総合病院がある。

2 入 植 状 況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数								8							8	6
総面積	1,390 Ha															
ロッテ面積	25 Ha															
土地価格																
支払条件																

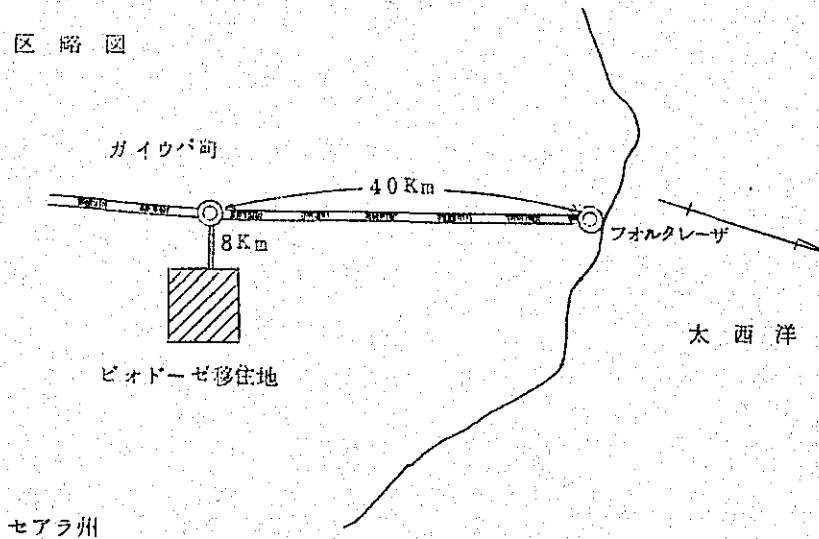
3 営 農

主作物	永年作物 パナナ, ヤシ, マンジョカ, 木棉 短期作物 陸稲, 蔬菜, 果菜
営農状況	都市供給果樹, 蔬菜を中心とした営農を行っている。

4 特記事項及び問題点

永年作物の適種を発見すること。

5 地区略図



地区名	ブナウ
移住形態	自営開拓農（ピオ12世財団）
受入世話機関	レシーフェ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	S 5° 30' W 85° 40' リオグランデ・ド・ノルテ州
	地形	地区中央部低地は西から東にフォンセカ河が流れ、地区南北部は緩傾斜丘陵地となつている。 低地標高8 m, 高地20~30 m
	地質, 土壌	低地は有機質の黒色沖積土で、高地は砂土である。pH 5~5.5
	植生, 林相	低地は一般に草原でまばらに灌木が自生し根も浅い。高地はココヤシ, マンガローバ, パアアヤ等が自生している。
気候	最高平均気温29.4°C, 最低平均気温20.6°C, 平均26.2°C 年間降雨量1,500 mm	

社会条件	交通	セアラミリン市（人口5千）地区南方4.5 Km ナタール市（州都, 人口16万）地区南方8.6 Km
	市場	ナタール市, 本地区の最大市場
	医療, 教育	診療所は地区内にないが, セアラミリン市, ナタール市には病院がある。小学校が地区内にある。

2 入植状況

年 度	27	28	29	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	40	計	定着戸数
戸 数								9	4						18	8
総面積	1,865 Ha															
ロッテ面積	10 Ha 低地5 Ha 高地5 Ha															
土地価格																
支払条件																

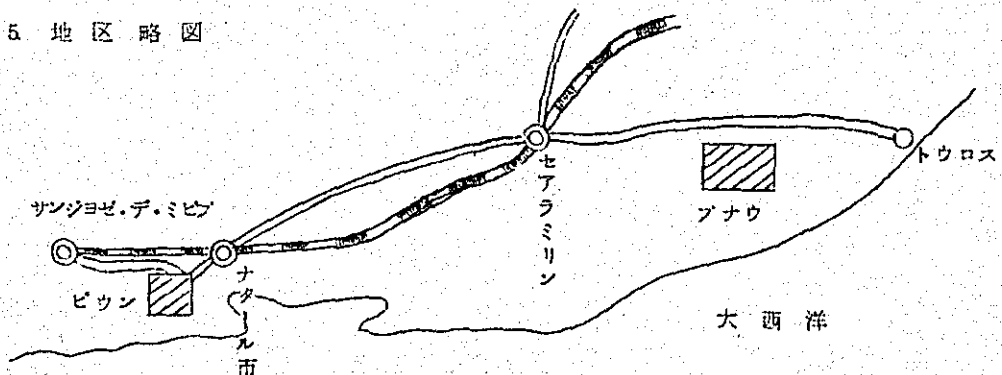
3 営 農

主 作 物	短期作物 蔬菜, 豆類, 米, 永年作物 パナナ, ココヤシ
営農状況	低地を利用して主に蔬菜栽培を行っている。 転耕者の廃耕ロッテを利用し, 経営拡大を計り, パナナ, 畜産導入による経営の安定を今後の営農計画として考えている。

4. 特記事項及び問題点

<p>当入植地はビオ12世財団経営の入植地であり, 分譲されず永代借地権が与えられるのみである。</p> <p>昭和38年, 39年, 脱耕問題で入植地内は凶作したが, 事業団の融資を基調とした対策により3家族が残留し, 6家族はレンソーフェ市近郊に移り一応問題の解決をみた。</p>

5. 地区略図



地区名	ピウン
移住形態	自営開拓農(連邦政府)
受入世話機関	レソーフェ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	S 5° 55' W 85° 10'
	地形 地質, 土壌	標高20~50m 河岸の湿地帯とそれに連なる緩傾斜高台地からなる。低地には灌類, 高台上は疎林, 高台中腹はやゝ密を再生林となつている。最高平均30.2°C, 最低平均18.9°C, 平均26.7°C 雨量約1,500mm 湿度71.5%

社会条件	交通	ナタール市(州都) 地区北方30Km 人口16万 パラナミリン市 地区北西15Km
	市場 医療, 教育 その他	ナタール市を対象とする。 地区内に小学校がある。病院はナタール市 地区内に共同井戸がある。住宅は高台に州政府の手によつて建設された。

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数					9										9	10
総面積																
ロッテ面積	14Ha 家屋63m ² 利用面積50Ha															
土地価格	46000クルゼイロ															
支払条件	4年据置 4年年賦															

3 営農状況

主作物	短期作物 蔬菜, 米, 永年作物. パナナ
営農状況	低地帯においては米作, 高台地の中腹には蔬菜, メロン, パナナ等の栽培に利用されている。

4 特記事項及び問題点

<p>32年3月連邦農務大臣は日本人入植者の努力に感激し, 10Haの土地を寄贈した。排水施設の完備が急務であるが, 40年1月から州政府が浚渫工事を開始した。低地は雨期になると水びたしとなる。水害のない年はナタール市を市場とする典型的な近郊農業として営農は順調にいつている。</p>

5 地区略図

バナウ移住地参照

地区名	リオポニート
移住形態	自営開拓農(州政府及び連邦政府)
受入世話機関	レンーフエ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	S 8° 29' W 35° 41'
	地形	標高600~800m全体として起伏の多い地形
	地質, 土壌	土質は砂質壤土(高所)であるが, 谷間には植質砂土ないし壤土が広がっている。
	植生, 林相	傾斜部は森林が多い, 森林資源は豊富である。
	気候	最高平均28°C, 最低平均18°C, 雨量780mm, 流水の量は降雨量に比し, 湧水の関係もあり豊富である。

社会条件	交通	レンーフエ市より西方へ完全舗装国道を100kmでベゼーホスに至り, さらに南下すること30kmでポニートに着き, ここより7kmで本移住地に着く。
	市場	レンーフエ市を対象とし野菜, 果樹の供給を行っている。
	医療, 教育	ポニート市に小中学校がある。又病院, 診療所も完備している。地区内にも小学校がある。
	その他	地区中心に事務所, 倉庫, 製粉所があり地区内道路もよい。

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数							5		9						14	16
総面積	1,380Ha															
ロッテ面積	25Ha															
土地価格																
支払条件																

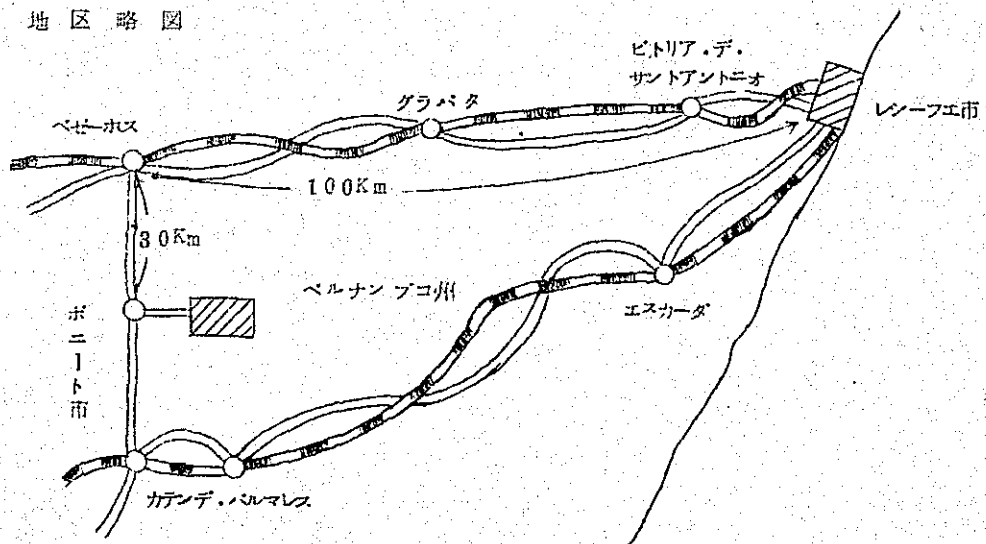
3 営 農

主 作 物	マンジョカ、バナナ、マラクシヤ、パイナップル、野菜、米
営農状況	蔬菜と果樹を組合せた営農が中心である。 若干養鶏を取り入れている農家もある。

4. 特記事項及び問題点

ポニード市より移住地までの道路があまりよくない。

5 地区略図



地区名	ウナ
移住形態	自営開拓農(連邦政府)
受入世話機関	レンソーフェ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	S 15° W 39°
	地形	標高50~100m地区内小河川あり、河川流域は低湿地を形成している。河川を遠ざかるに従って、稍急勾配をへて、高台地になっている。
	地質、土壌	傾斜地、高台地は第3紀層の砂質又は壤質の土壌からなり、低地は有機質の多い土壌からなる。
	植生、林相	海岸森林地帯に属し、地区周辺は森林である。カカオ、その他高温湿下に生育する植物が繁茂している。
	気候	最高平均29.4℃、最低平均18.6℃、年間降雨量2100mm

社会条件	交通	地区内小型飛行場がある。 地区よりウナ町までは10Km、ウナ〜イタブナ市120Km ウナ〜イリエウス150Km、ウナ〜サルパドール市640Km
	市場	イタブナ市(イリエウス市)
	医療、教育	学校、診療所、薬局がある。
	その他	事業部、教会、収容所、修理工場、発電所等がある。

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数		25			11	1									87	20
総面積	5,494 Ha															
ロッテ面積	30 Ha															
土地価格	30~45 コントス															
支払条件	3年据置 10年年賦															

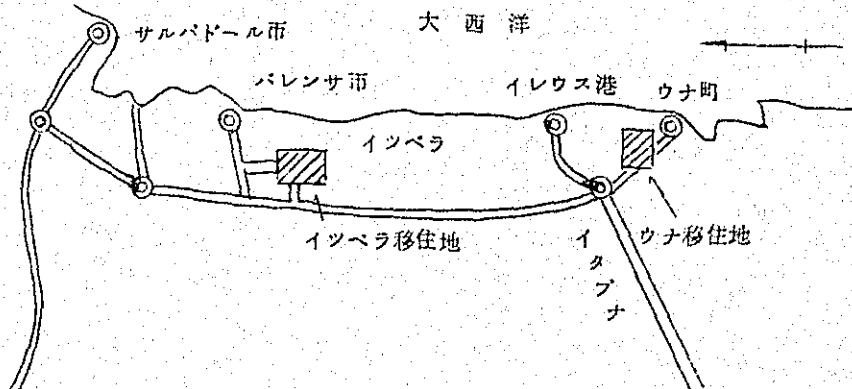
3 営農状況

主作物	ゴム, カカオ
短期作物	米, トウモロコシ, 蔬菜, フェジヨン
営農状況	ゴムを主体としそれに雑作をとり入れた営農を行っている。現在1家族平均 3,000本のゴムを植付けている。

4 特記事項及び問題点

入植者の大部分は既にゴムの採液可能であるが、ゴムの落葉病対策が今後の残された問題となっている。

5 地区略図



地区名	イツベラ
移住形態	自営開拓農(州政府)
受入世話機関	レシーフェ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	S 13° 45' W 89° 15'
	地形	標高160~230m, 全体に起伏あり, 水流に恵まれている。
	地質, 土壌	赤道熱帯性ラテライト, 鉄分の含有が多く礫土ないし砂質礫土
	植生, 林相	原生林, 再生林あり, 林相は相当厚く, 有用材も含まれる。
	気候	最高平均27.8°C, 最低平均24.2°C, 年間雨量2100mm

社会条件	交通	イツベラ町(人口5千)まで10Km, バレンサ(2万)まで5.2Km イツベラ町よりサルバドル市まで130Km(海上)
	市場	サルバドル市, イツベラ町, バレンサ市が市場となる。
	医療, 教育	イツベラ町に病院があり, 厚生省の出張所もあるバレンサ市にも入院 可能な病院があり, 地区内には小学校がある。
	その他	地区内には電気が入り, 燈用, 動力用に使用されている。

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数						6									6	8
総面積	5,000 Ha															
ロツテ面積	20 Ha															
土地価格	100,000クルゼイロ															
支払条件	2年据置															

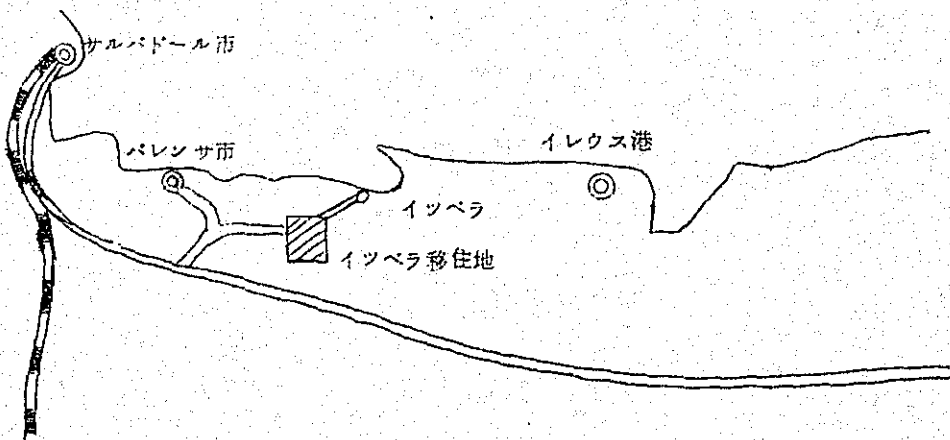
3 営 農

主作物	短期作マンジョカ, トマト, ピーマン, キヤベツ 永年作ゴム, 油椰子, 丁字, ラランジャ
営 農	早期安定を考えてなるべく早く永年作物を植付ける必要がある。

4. 特記事項及び問題点

主産物の販路としての市場が狭少である。

5 地区略図



地区名	クビテエツク
移住形態	自営開拓農(州政府)
受入世話機関	レンシーフェ支部

1 地区概要

自然条件	位置	S 12° 40' W 38° 30'
	地形	標高は最も高い所で100m, 全体にある程度起伏のある丘陵地。
	地質, 土壌	全般に砂質壤土でマサツペ(水成岩の風化土壌でテラロシアに近い)で肥沃であり, 腐植にも富んでいる)の地が相当ある。
	植生, 林相	林相は厚く, 再生雑木林。
	気候	最高平均28.3°C, 最低平均22.2°C, 降雨量1,800mm

社会条件	交通	マタ・デ・サンジョアン市まで6Km サルバドール〜マタ・デ・サンジョアン間は鉄道連絡あり, サルバドール市(バイア州州都人口70万)移住地より約80Km。
	市場	サルバドール市が主な市場である。
	医療, 教育	地区内に診療所兼病院, 小学校がある。

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数							5	49	25	80	5				114	86戸
総面積	2,600 Ha															
ロッテ面積	イタビシリカ地区25Ha, サンベトロ地区20Ha															
土地価格	150~200コントス															
支払条件	2年据置, 10年年賦															

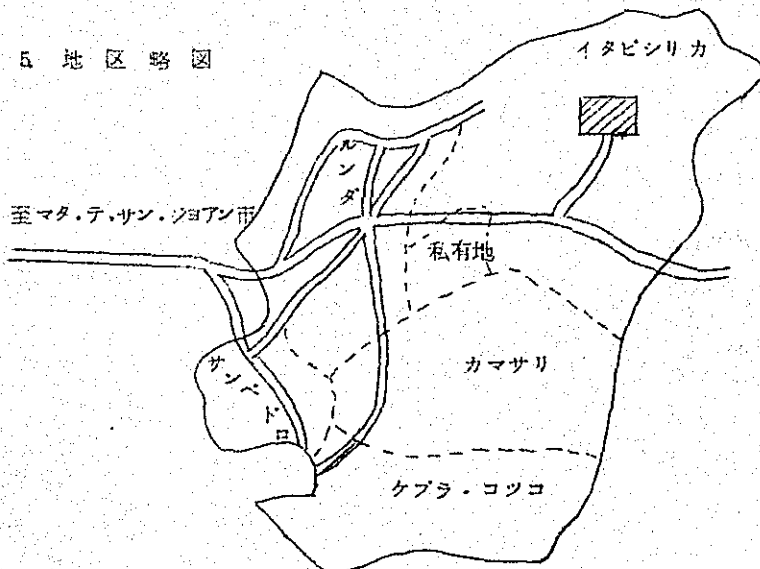
3 営 農

主 作 物	短期作物, 蔬菜, 米, 永年作物 柑橘, マラクシヤ, カカオ, タバコ, バイナップル
営農状況	早期安定を計るため永年作物を早期に植栽することが近道であり, その収穫までの同短期作物に併せて家畜を入れる事が望ましい。

4. 特記事項及び問題点

ドミニカよりの転任者も含めて, 比較的営農成績がよく安定している。

5. 地区略図



南 伯

地区名	フンシャル
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	リオ・デ・ジャネイロ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	リオ・デ・ジャネイロ州 カンヨエイラ・デ・マカウ郡シャブイバ
	地形	標高低地30m, 丘地80~90m 地区の西北及び東北境界線にやや高い峰がある以外は約50~60mの小丘が全域に散在し, その間を小川が流れ, 低地を形成している。
	地質, 土壌	丘地は花崗岩系を母岩とする礫土をいし砂礫土, 低地は沖積土で礫土, 砂礫土
	植生, 林相	地区内大部分は再生林でわずかに高地峰の部分原始林を残し, 低地には湿地性草木の草地がある。
	気 候	最高平均35.2℃, 最低平均12.7℃, 降雨量2,346mm

社会条件	交通	カンヨラ・デ・マカウ市までは11Km
	市場	大消費都市リオ・デ・ジャネイロを対象としており, 立地条件は良好であるので販売に支障を来すおそれはない。
	医療, 教育	地区内に小学校があり, カンヨエラ市には中学校がある。カンヨエラ市には病院がある。カンヨエラ市には病院があつて定期診療もあり, 医療施設は完備し, 手術も可能。
	その他	冷蔵庫(石油発動), プロパンコンロは一般化しつつある。

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	現 地 植 入 植	合計	定着戸数
戸 数									8 (41)	33 (144)	4 (28)	1 (7)	1 (5)		47 (230)	5 (31)	52	45
総面積	1,015Ha																	
ロット面積	平均11.1Ha																	
土地価格	一括払805,000円(標準価格) 分割払1,239,000円																	
支払条件	分割払の場合 頭金80,000円10年据置, 3年年賦払 賦金額 886,400円																	

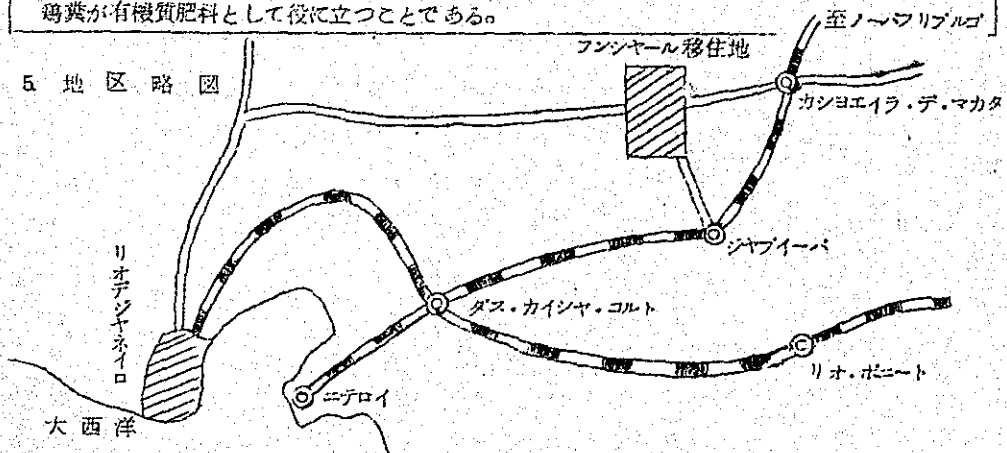
3 営 農

主 作 物	蔬菜, 養鶏, バイナップル, コヤバ, 柑橘類
営 農 のすすめ方	入植初期の段階で伐開, 家屋, 鶏舎を建築し, ひなを導入しながら農作物の 植栽を実施し, 漸次多角経営に移行する。

4. 特記事項及び問題点

入植あつせん中, 残ロットは既入植者の増反があるので10ロット以内, 39年道路補修, 排水路工事が実施され, 更に40年度において道路補修が続行暗渠が補強された。
 永年作物は収入の安定を計る上に不可欠と考えられるが, 現在のところバイナップルの栽培が本格化し, コヤバは試作の域を脱し, 好成績である。
 なお, 入植者の過半数が食肉鶏, 産卵鶏を導入しているが, にわとりのみに頼ることは販売価格, 飼料価格の不安から賛成出来ないが, 営農形態の中で鶏を持つことの大きな利点は, 鶏糞が有機質肥料として役に立つことである。

5 地区略図



地区名	ジャカレー
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	サンパウロ支部

1 地区概要

自然条件	位置	ジャカレー市の西北8Km
	地形	地区の北面東南側に40~130mの丘陵がある。中央部は低地でパラテイ河が流れている。
	地質,土壌	丘陵地は花崗岩系の砂礫土,壤土が主であるが低地は沖積土の堆積土。
	植生,林相	丘陵地は主として草原,再生林で放牧地として利用されており,低地は水田である。
	気候	年平均気温18℃,最高33.1℃,最低15℃,年間降雨量1,150mm

社会条件	交通	サンパウロ市まで67Km,トラックで2時間弱である。
	市場	サンパウロ市
	医療,教育	ジャカレー市には病院,中学校の教育施設がある。
	その他	ジャカレー市にコチアおよびモジ産租の出張所,倉庫がある。

2. 入 租 状 況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数									4	29	3			1	37	35
総面積	613 Ha															
ロッテ面積	65 Ha															
土地条件	一括払860,000円(平均価格) 分別払1,330,160円(標準価格)															
支払条件	分別払の場合頭金860,000円, 10年据置3年年賦 賦金額414,720円(標準)															

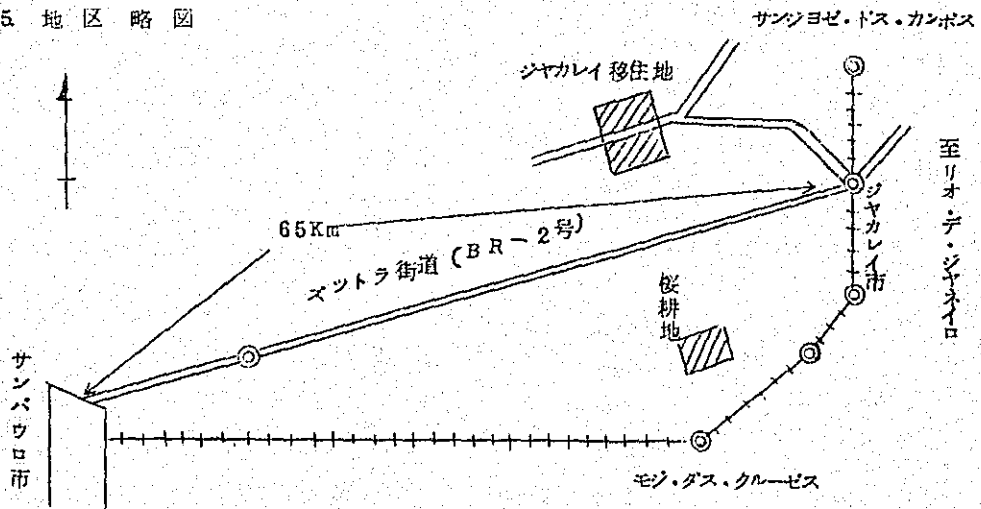
3. 営 農

主作物	米, 蔬菜, 果樹, 養鶏
営農のすめ方	当初落花生, 陸稻, 野菜等を栽培し, 一方永年作物を早急に植付, 養鶏を取り入れて, 経営の安定拡大を図る。

4. 特記事項及び問題点

現在入植あつせん中

5. 地区略図



地区名	桜耕地
移住形態	自営開拓農
受入世話機関	サンパウロ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	S 23° 20' W 46° 05'
	地域	標高600～650m緩い起伏をなす丘陵で小川、谷川、湧水等豊富である。
	地質、土壌	壤土
	植生、林相	再生林を含む草原地帯
	気候	夏期、晴天日中38℃、夜間10℃、年間降雨量1,500mm 冬期、 ◦ 20℃、 ◦ 2℃

社会条件	交通	グワラレーマ市へ6Km、ジャカレイ市へ12Km モジダス、クルーゼス市へ30Km、各市へのバスの便がある。 サンパウロ市へは57Km
	市場	サンパウロ市
	医療、教育	小学校が地区内にある。中学校はグワラレーマ市に通学。グワラレーマ市には州立病院がある。

2 入植状況

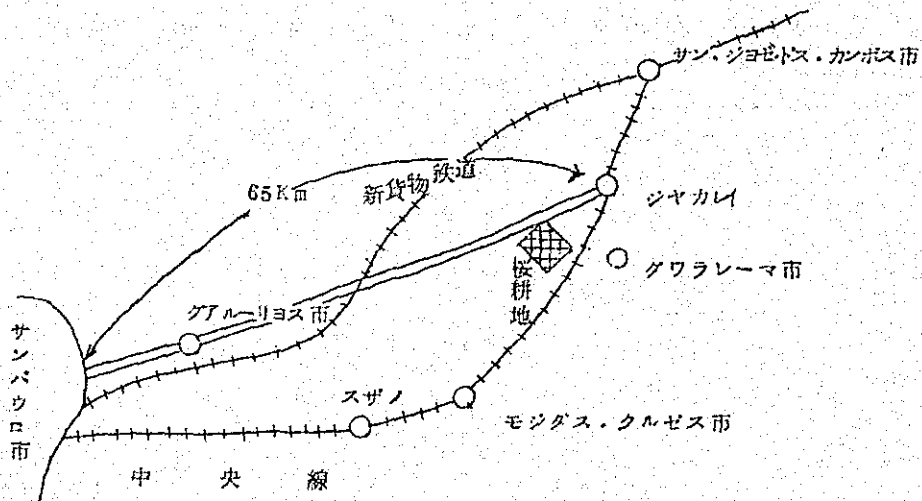
年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数											7	9			16 (38)	54
総面積	200 Ha															
ロッテ面積	5 Ha															
土地条件	A級ロッテ一括払, 52万円 分割払 頭金31万2千円 B級ロッテ 48万円 〃 〃 28万8千円															
支払条件	分割払の場合残額を1年以内に支払う。															

3 営 農

主 作 物	短期作物 トマト, 玉葱, ササゲ, チンヤ, 永年作物 柑橘
営農の方向	都市近郊の恵まれた立地条件を生かして, 生鮮食料品の生産販売を主とする。 養鶏を並行せしめて経営の安定を図ることが望ましい。

4. 当耕地は足立小平治氏が独自で35年2月開設を意図したのに始まる。

5 地区略図



地区名	グアタバラ
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	サンパウロ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	サンパウロ市の北西 26.5 Km
	地形	地区の57%は大波状形丘地、43%はモジグアス河右岸の低地である。 標高500~570m
	地質、土壌	丘地は輝緑岩と砂岩の風化土壌よりなるテラロシヤミストラードで赤色を呈する。土層は深い。 低地は黒色の沖積土で腐植に富む。土層は1.5m~3m
	植生、林相	丘地の一部は小灌木林又は雑木林または放牧地で牧草が生育している。 低地はモジグアス河に沿って原始林が帯状に密生しているが大部分雑草に覆われている。
気候	年平均21.8℃, 最高月の平均23.6℃, 最低月の平均18.4℃ 年降雨量950mm	
社会条件	交通	サンパウロ市へは地区近傍のグアタバラ駅より鉄道で7時間、自動車では5時間を要する。リベロンプレット市へは45.5mの距離にある。
	市場	リベロンプレット市、サンパウロ市を対象とする。
	医療、教育	学校、診療所、倉庫等がある。 附近のリベロンプレット市には大学、総合病院がある。
	その他	コチア産組の出張所がある。

2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数										27	42	38	22	4	133	131
総面積	7 8 0 0 H a															
ロッテ面積	1 2 5 H a															
土地条件	水利施設共有権，持分とも一括払い価格 1,500,000 円， 分割払価格 2,341,152 円															
支払条件	分割払の場合 頭金 1,500,000 円，10 年据置 4 年年賦 賦金額 541,788 円															

3. 営 農

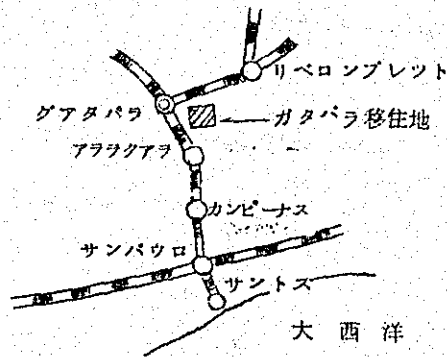
主 作 物	米，馬鈴薯，蔬菜，永年作物は柑橘，養鶏，養蚕
営農状況	基幹作物として計画された米作が一時後退きみであつたが近年再興しつつあり又蔬菜，養鶏が増えつつある。ユニークなものとして養蚕を行つている農家もある。永年作として柑橘，パイナップルの植付を行つている。

4. 特記事項及び問題点

40年度まで全括連，コチア産組，事業団の協力の下に運営していたが，41年度より事業団が一元的に事業を遂行することになった。

従つて従来の7県募集は廃止し，全国公募により現在募集中である。

5. 地区略図



地区名	ピニヤール
移住形態	自営開拓農
受入世話機関	サンパウロ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	サンパウロ市より南方166 Kmのピラール・ド・スール市近く。
	地形	標高700 m前後、全体的に大きな波状をなしており傾斜6~7°
	地質、土壌	頁岩の風化物を母体とした礫土乃至埴壌土を主体とし、地味は中筋、一部の低地では地下水高く腐植に富んだ暗黒色の砂礫土にして300 m以下に暗青色の粘土層のあるところもある。
	植生、林相	地区2/5は再生林、1/5は濶木林、2/5は畑地及び放牧地となっている。
気候	年平均気温18.5°C、サンパウロ州としてはかなり冷涼な地帯に属する。年降雨量は1,200~1,300 mm	

社会条件	交通	1日4回サンパウロ市行きバスが運行しており、5時間で到着する。ピラールドスール市まで22 Km、サンミゲル・アルカンジョ市へは18 Km
	市場	主な市場はサンパウロ市である。
	医療、教育	地区内に小学校があり、中学校はピラール・ド・スール及びサンミゲル・アルカンジョ市にある。 病院はピラール・ド・スール市に2つある。

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数											8	20	14	12	49	47
総面積	760 Ha															
ロッテ面積	12 Ha															
土地条件	一括払650,000円 分割払1,002,000円															
支払条件	分割払 頭金65,000円 10年据置8年年賦 賦金額312,000円															

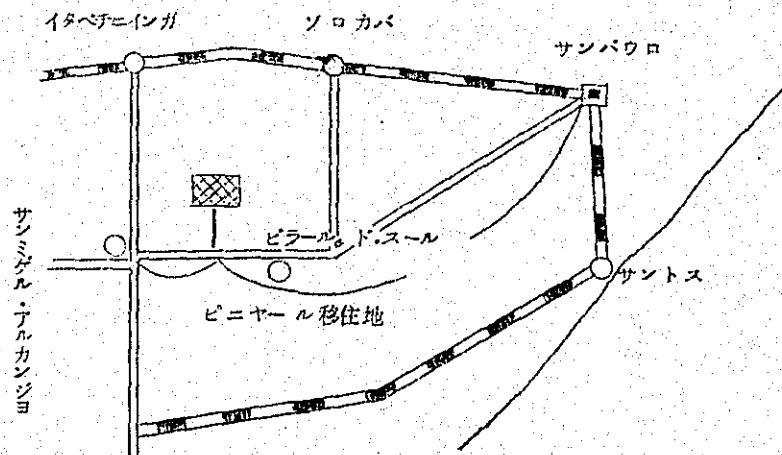
3 営農計画

主 作 物	短期作 馬鈴薯, 甘藷, トウモロコシ, 永年作物 桃, 柿, ブドウ
営農のすすめ方	都市近郊農地として, トマト, ピーマン等の野菜栽培, ブドウ, 桃, 柿等の果樹栽培, 或はこれらに養鶏を組合わせた有畜果樹園芸の経営を行う。

4 特記事項及び問題点

現地入植は扱っているが、内地からの送付は打切っている。

5 地区略図



地区名	クルバイ
移住形態	自営開拓農(和歌山不動産)
受入世話機関	サンパウロ支部

1 地区概要

自然条件	位置	ドラードス西南140 Km
	地形	標高400 m, 高差50 m 中央部が高く幾分かの起伏を経て谷に向つて落込んでいる。
	地質, 土壌	ラーラミスタに近い 砂質壤土
	植生, 林相	未墾地は, 大部分が灌木林である。
	気候	年間雨量1,400 mm, 雨期最低22°C 乾期最低8°C

社会条件	交通	ドラードス市に至る170 Kmの交通機関はトラックである。
	市場	ドラードス市
	医療, 教育	移住地内に診療所, 共同販売所及び小学校があるが退耕者があつたので学校のみ利用にとどまつている。

2 入植状況

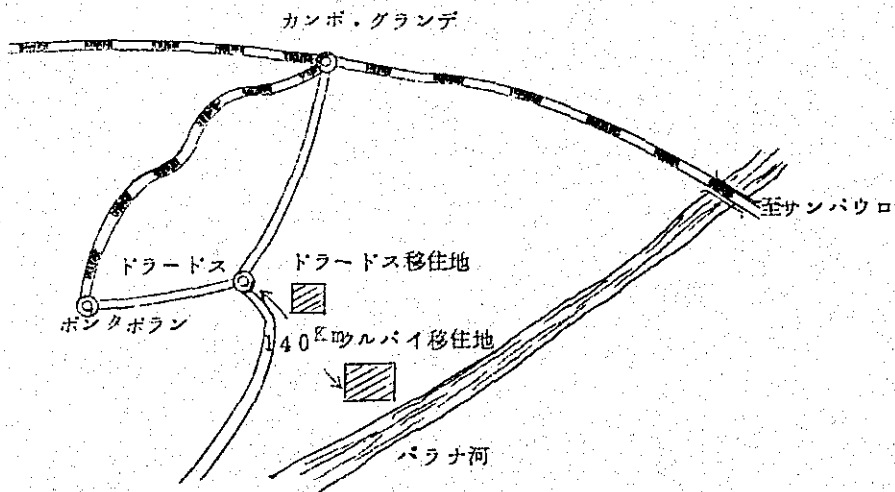
年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数															57	12
総面積	4,269 Ha															
ロッテ面積	24 Ha															
土地価格	80,000 クルゼイロ															
支払条件																

3 営農計画

主作物	コーヒー、棉、雑作
営農の状況	コーヒーは霜害にあり現在棉を主体とし、それに雑作を組入れた営農を行う。

4 特記事項及び問題点

5 地区略図



地区名	オウリーニヨス
移住形態	自営開拓農(現地組合)
受入世話機関	サンパウロ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	サンパウロ州オウリーニヨス市南方7Km
	地形	標高460~470m 緩傾斜の波状地で高台、緩傾斜地台地よりなる。
	地質、土壌	テラロシアに微細砂の混じつたものであり、やや粘着力にとほしいが、保水力はすぐれており、きわめて肥沃である。
	植生、林相	移住地の一部に原始林地帯を残しているが、大半は耕されコーヒー、雑作甘藷、牧場として利用
	気候	年平均26℃、最高34℃、最低12℃、年間降雨量1,200~1,500mm

社会条件	交通	サンパウロ市へはオウリーニヨス市から汽車、バス、飛行機が定期的に運行している。
	市場	オウリーニヨス市(人口5万)、サンパウロ市
	医療、教育	オウリーニヨス市には教育、医療設備が完備している。
	その他	地区内の各戸は電気、水道施設完備している。

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数										16		1			17	23
総面積	23875 Ha															
ロッテ面積	10 Ha															
土地価格	一括払652,000クルゼイロ															
支払条件	一括払のみ															

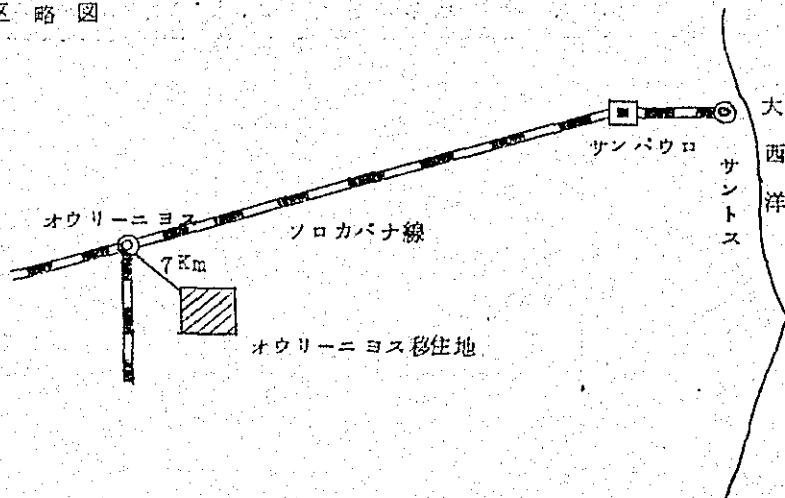
3 営農状況

主 作 物	永年作コーヒー、ボンカン、短期作 棉、トウモロコシ、落花生、フエシ ヨン、米、蔬菜、養鶏、養豚
営農状況	コーヒー、棉、フエシヨン、落花生栽培により着実に収益をあげ、組合の 当初計画のコーヒー、果樹、それに養鶏の線に沿って努力している。

4 特記事項

現地組合の創設した移住地に日本より移住者を導入した移住地である。

5 地区略図



地区名	ドラーダス
移住形態	自営開拓農(連邦政府)
受入世話機関	サンパウロ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	S 22° 22' W 54° 25'
	地形	地形はゆるやかな波状を呈し、起伏は40mを越えることはない。
	地質、土壌	テラロシヤ地帯に属し、地味は肥沃であるが、地形により砂質礫土が点在する。
	植生、林相	森林はよく繁茂し、巨木の密生している良好な林相である。
	気候	雨期最低気温22°C、乾期最低6~7°C 年間降雨量1,329mm

社会条件	交通	ドラーダス市まで70Km, カンボグランデ市より約110Km
	市場	カンボグランデ市, ドラーダス市
	医療, 教育	薬局1, 病院1, 小学校8が地区内にある。
	その他	植民事務所, 製材所, 鉄工所, 発電所等がある。

2 入 植 状 況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数		74	13		4	3									94	54
総面積	300000Ha															
ロッテ面積	30Ha															
土地価格	無 償															
支払条件																

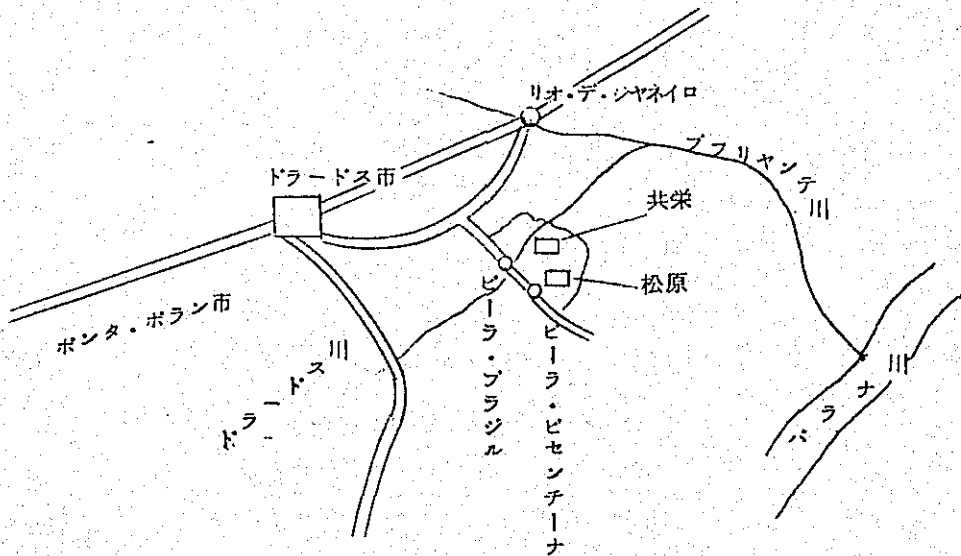
3 営 農 状 況

主 作 物	永年作物 コーヒー	短期作物 トウモロコシ, フェジヨン, 大豆, 米
営農状況	コーヒー栽培を主体とし, それに雑作を組入れた営農を行っている。	

4. 特記事項及び問題点

教育及び道路について改善すべき点が残っている。

5. 地 区 略 図



地区名	バルゼアアレグレ
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	サンパウロ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	マツト・グロツソ州, カンボグランデ市西方45 Km S 20° W 55°
	地形	北側は平坦地, 南側はゆるやかな丘陵地である。
	地質, 土壌	土質は砂壤土, 砂質土, 若干テラロンア地帯がある。
	植生, 林相	奥地草原地帯に属し, ところどころに原始林地帯, 再生林地帯がある。
	気候	平均気温23.6°C, 最高平均30.9°C, 最低平均18.1°C 年間雨量1,587.7 mm, 雨期10~3月, 乾期4~9月

社会条件	交通	ノロエステ線鉄道が移住地の中央を東西に走りサンパウロ市(1,296 Km)には32時間, カンボ・グランデ市には自動車にて1時間の行程である。
	市場	南マツト・グロツソにおける農産物の集散地であるカンボ・グランデ市(人口8万)が市場である。
	医療, 教育	地区内に診療所1(医師駐在せず), 小学校1

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数							9	18	28	1					51	34
総面積	36,363 Ha															
ロッテ面積	25 Ha															
土地価格	一括払650,000円(標準価格)															
支払条件																

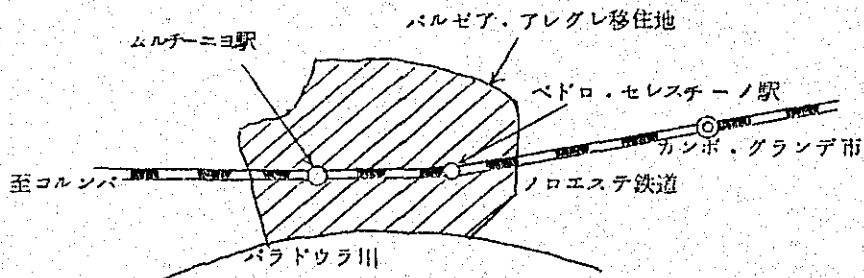
3 営農計画

主 作 物	米, パナナ, とうもろこし, フェジヨン, 蔬菜, 養鶏
営農状況	<p>養鶏を中心に蔬菜, 雑作を組合せた営農を行っている。現在1戸平均養鶏数1,000羽であるが, カンボグランデ市場の需要状況からみて2,000羽を目標に増羽を行っている。</p> <p>将来の安定の基盤である牧場について現地組合でモデルケースを造るべく検討中である。</p>

4 特記事項及び問題点

<p>入植後2~3年退耕者が続出したが, 現在養鶏ブームに乗って立ちなおっている。未利用地の処置について検討中である。</p> <p>現在内地からの送出し見合している。</p>

5 地区略図



地区名	ラーモス
移住形態	自営開拓農 (サンタカタリーナ州農地改革院, 事業団)
受入世話機関	ポルトアレグレ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	S 22° 30' W 52°
	地形	標高1,000 m内外の小波状形丘陵地帯, 傾斜5~7° 地区内には所々に自然の湧水がある。
	地質, 土壌	玄武岩を母岩とした土壌で, 腐土, 堆積土, 砂壤土が混和している。 pH 5.0~5.8
	植生, 林相	旧パラナ松自生地で伐採後数年を経た雑木の再生林が大部分であるが一部低地には原生林らしいものが残存している。一部は以前に農地として利用されたあとがあるが, これらは概ね雑木と雑草でおおわれている。
気候	年平均気温 15.7°C, 平均最高 24.5°C, 平均最低 9.1°C 年間雨量 1,346 mm, 平均相対湿度 82%, 6月には零下 6~8°Cに下る日がある。(何れも 1959~1962年の4ヶ年平均, 小麦植民地観測所)	

社会条件	交通	移住地よりクリチバーノス市へは 28 Km と 47 Km の 2 つのコースがある。クリチバーノス市よりラーヂエス市 8.4 Km, サンパウロまで 710 Km, ポルトアレグレまで 450 Km。
	市場	クリチバーノス市 (人口 10,000 農林産物集散地) ラーヂエス市 (人口 40,000 農林産物の集散地) ヴィデイラ市 (人口 10,000, 精粉, 果樹酒豚肉加工等各種工場) BR 116 (旧 2 号) 国道利用の各市場 (サンパウロ, リオデジヤネイロ, クリチーバ, ポルトアレグレ等)
	医療, 教育	クリチバーノス市に総合病院, その他医薬局保健所がある。地区内に小学校がある外, クリチバーノス市には中学校, 師範学校, ラーヂエス市には高校, 中学校, 師範学校, 大学等がある。

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	計	定着戸数	
戸 数														8	7	1	16	16戸
総面積	(注) 入植戸数は以上の他2戸の伯国人入植者あり上記戸数は現地入植である。 1,300 Ha																	
ロッテ面積	平均1899 Ha～3108 Haの範囲にある。																	
土地価格	均一1,997106クルゼイロ (但し住宅70㎡資材を含む)																	
支払条件	分譲はサンタカタリーナ州農地改革院 (IRASO) と入植者との間に現地通貨建てにより契約し、3年据置10年無利子均等年賦払で、IRASO に払込み、土地代完済後地権が交付される。																	

3 営 農

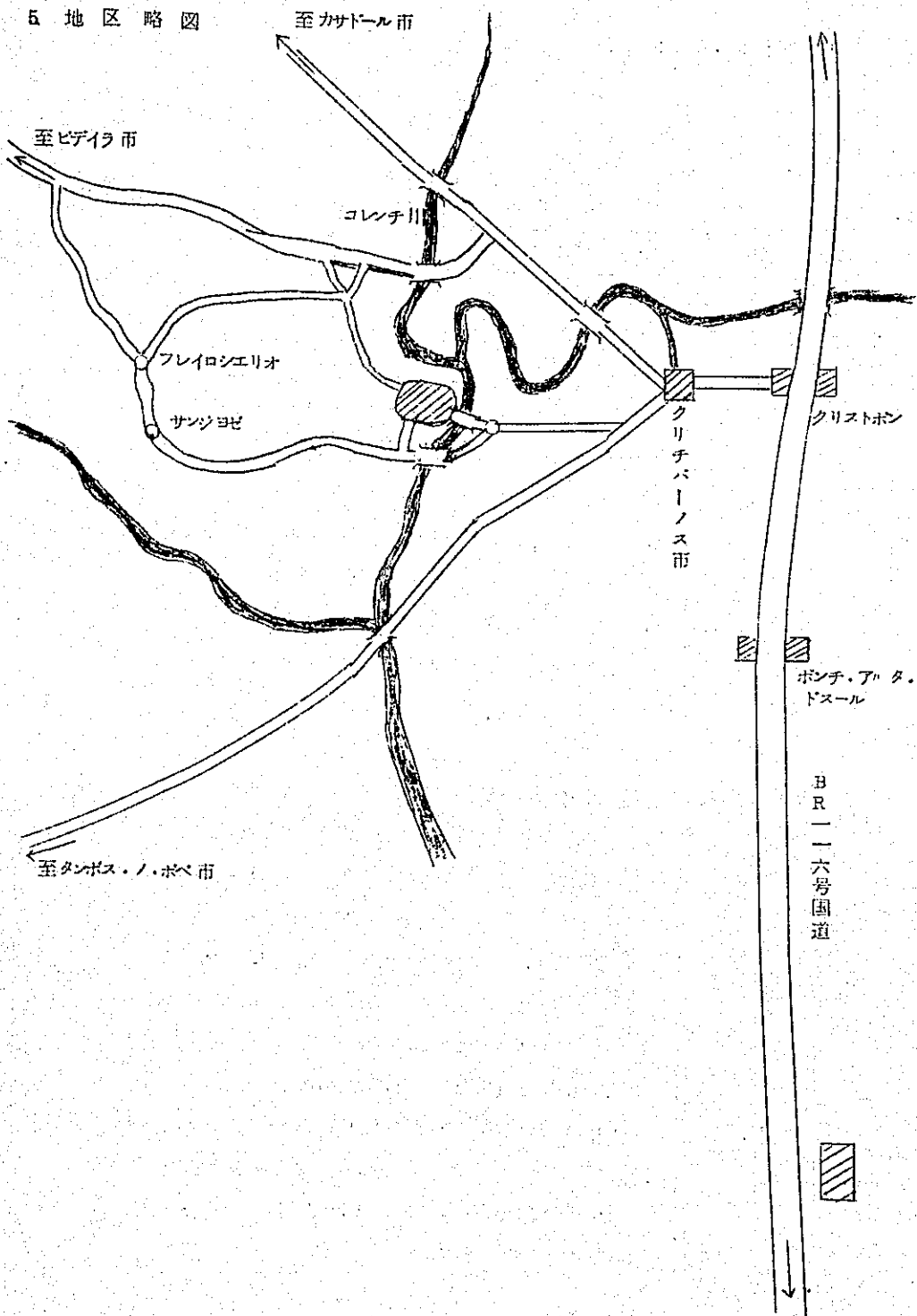
主 作 物	永年作 果樹 (桃, リンゴ, ブドウ, 梨等) 短期作 トウモロコシ, 米, 小麦, マンジョカ, 馬鈴薯, 蔬菜 (タマネギ, 人参, トマト) など
畜 産	養豚 (肥育, 繁殖豚)
営農のすすめ方	入植初年度は雑作が主体となるが、2年目より果樹, 養豚を取入れ、つなぎとして雑作, 野菜を栽培する。

4 特記事項及び問題点

<p>本年1月にIRASOの移住地登録が許可された。</p> <p>上記16戸はリオ・グランデ・ド・スール州より12戸サンタ・カタリーナ州より8戸、アマゾンより1戸の入植者である。</p> <p>現在隣接地に土地を購入して入植した4戸があり、今後漸次増加する見込である。(組合員として平等に扱っている)</p>

5 地 区 略 図

5 地区略図



アルゼンチン国

地区名	ガルアペー
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	ブエノスアイレス支部

1. 地区概要

自然条件	位置	S 26° 50' W 54° 50'
	地形	標高250~300mアルトパラナ河畔にあり、河に向つてゆるく傾斜している波状丘陵地
	地質、土壌	母岩は玄武岩、土壌はその風化土壌たるテラロシアで地味良、一部砂質地あり。
	気候	原生林、有用木材殆んどなし、入植者用建材あり。 雨期、乾期の別は判然としない。年雨量1,500mm、最高平均気温37°C、最低平均気温-4°C

社会条件	交通	国道12号沿いに170Kmで州都ボサーダス市(人口8万余)、又120Kmでオベラ市(人口2万余)がある。国道12号はイグアスへの観光道路で、地区の接する処にはバスタップがある。ボサーダス市はブエノスからの鉄道、船及び航空機の利用もできる。
	市場	ボサーダス市、パラナ河を隔ててエンカルナシオン市に対するミシオネス州の州都は鉄道でブエノスより34時間、本地区の中間市場 主な市場はブエノス市である。プエルトリコ町(人口約3,000人)地区南方国道12号線上にあり、附近の物資の集散地。
	医療、教育	診療所は地区南端国道12号線の所にあり入院の為にはボサーダス市に行く必要あり、小学校は州立58小学校が入植地事業所近くに、州立86小学校が地区中央部にあり、中学校はプエルトリコ町にある。
	その他	警察官駐在所と仮収容所あり。

2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数							10	16	4	14	32	2	9		87	70戸
総面積	3,110Ha															
ロット面積	1ロット平均30Ha															
土地価格																
支払条件																

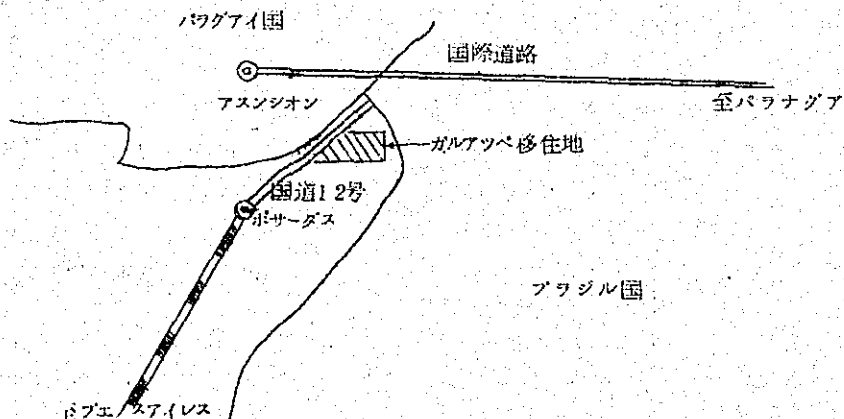
3. 営 農

主 作 物	煙草、マンジョカ、紅茶、マテ茶、油桐、バナナ松、ユーカリ、柑橘類
営農状況	自家食糧及び当初の換金作物として煙草、マンジョカ、とうもろこし、豆類等を作り除々に永年作物の茶、柑橘類、油桐及びバナナ松、ユーカリ等の作付けをし、順次永年作物作付面積を増す。

4. 特記事項及び問題点

短期作物は利潤の高い煙草が植え付けられ、永年作としての植林は近郊に製材工場、パルプ工場もあり、その市場性は安定している。既入植者は家畜導入も除々に行つて居るが、将来畜産導入にも力を注ぐべきであろう。

5. 地区略図



地区名	ア ン デ ス
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	ブエノスアイレス支部

1. 地区概要

自然条件	位置	S 34° 50' W 67° 50'
	地形	標高約460m, 所々に起伏があるが, 概して東南に向つてゆるやかな傾斜をなす平坦地である。
	地質, 土壌 植生, 林相	埴壌土を含んだ砂質土で, 砂は粒子頗る細かく粘土も含んでいる。 耐乾性の強い約40~70mm位の灌木類が密生しており, 巨木はない。
	気候	1年を通じ最も暑い時期が1月で最高平均気温24.6°C, 最も寒いのは7月で最低平均気温は8.6°Cとなつている。6~7月頃に1~2回雪の降ることがある。

社会条件	交通	サンラフアエル市(約90Km), ブエノスアイレス市まで週2回飛行便(約3時間)。移住地より14Kmのヘネラル アルベアル市を起点としてブエノスアイレス市, メンドサ市, サンラフアエル市に至る鉄道及びアスファルト道路がある。メンドサ市へは毎日2回汽車便(約5時間半), ブエノス市へは週4回(急行で17時間)の汽車便の他, メンドサ市へ長距離バスを運行している。又最近ブエノスアイレス, アルベアル間アスファルト道路が開通した。
	市場	ヘネラルアルベアル市(14Km, 人口1.5万), ブエノスアイレス市(900Km), メンドサ市(州都330Km), サンラフアエル市(90Km, 人口8万)。サンラフアエル, アルベアルは南部メンドサに於ける農産加工の中心地である。
	医療, 教育	ハイメブラツツ町(約5Km)に病院, ヘネラルアルベアル市に総合病院の他10数軒の開業医あり。 小学校が移住地2Kmにあり, 他にハイメブラツツ町に大きな小学校あり, ヘネラルアルベアル市には国立, 州立の小, 中学校, 商業専門学校, 農業専門学校, 女子師範学校がある。

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数												11	13	1	25	24戸
総面積	1,310Ha															
ロッテ面積	1ロッテ平均10Ha															
土地価格	一括払1,200,000円 分割払1,713,000円															
支払条件	分割払の場合 頭金120,000円7年据置4年年賦 賦金額398,250円															

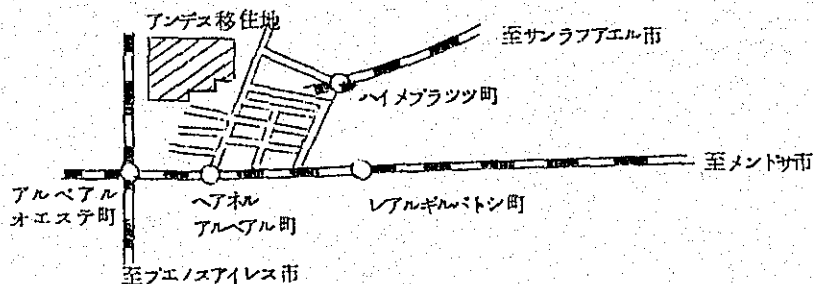
3 営 農

主作物 営農状況	ブドウ, 桃, スモモ, 梨等の果樹とトマト, ビーマン, 玉葱, アルファルファ等 入植後直ちに住宅を建築し, 耕地内の灌漑水路を整備し, 永年作物としてブドウ, 桃, 梨, スモモ等を植え, 短期作物としてトマト, ビーマン等の野菜及び飼料作物を栽培する。この様にして永年作物を主体として畜産加味の多角営農を行う方向にある。尙本地方は温帯果樹(ブドウ, モモ, ナン等)に好適であり, ブドウの栽培面積ではメンドサ州は全国の70%を占めている。
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 特記事項及び問題点

この地帯の農業は, 日本内地におけるそれと全く異なり, 土地利用の前に水の合理的利用をはからなければならないという現状に注意して着手しなければならない灌漑農業であり, この経験を有する者には, 最も好適な移住という事ができる。塩害, 霜害又霜害の恐れがあるので, 入植初期の段階では充分これに注意することが望ましい。39年の霜害と40, 41年の降 により営農に手ひどい打撃を受けた。

5 地区略図



地区名	ウルキツサ
移住形態	自営開拓農(亜国政府)
受入世話機関	ブエノスアイレス支部

1. 地区概要

自然条件	位置	S 35° W 58°
	地形	なだらかな起伏ある高台
	地質, 土壌	浸透性のあるくだけやすい土壌, 耕土は40 Cm程度で有機質に富み肥沃である。
	植生, 林相	草原で野性あざみ等が所々に群生している。
	気候	温帯性気候である, 夏期は日中35°位に上昇するが, 夜間は急に冷えこむことあり, 冬期は時には零下3~4°まで下るが日中は15°位まで上り, 比較的温暖である。年間雨量1,400mm

社会条件	交通	入植地入口より1 Kmでメルチヨル ロメロ町に出られる。ロメロ町からはラプラタ市(州都, 人口35万人)までは鉄道又はアスファルト道路を走るバス便が頻繁にあり, ラプラタ市よりはブエノスアイレス(約50 Km)その他各方面に交通網が拡つている。
	市場	ブエノスアイレス市, ラプラタ市等大市場に直結しており, 生産物は即日トラックで両市市場へ運ばれる。
	医療, 教育	入植地中央部に州立小学校が設置されている。ロメロ市には総合病院郵便局, 警察があり, 各種商店も揃っている。高等教育はラプラタ市, ブエノスアイレス市の学校を利用する事になる。

2 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数												17	4	4	25	25戸
総面積	600Ha															
ロッテ面積	7~2Ha															
土地価格	分割払1,455,000円(標準価格)住宅付き															
支払条件	頭金20%,残金は15年分割払,利息は残額について年7%で6カ月毎に支払う。又支払の度に総額の1%を手数料として支払う。															

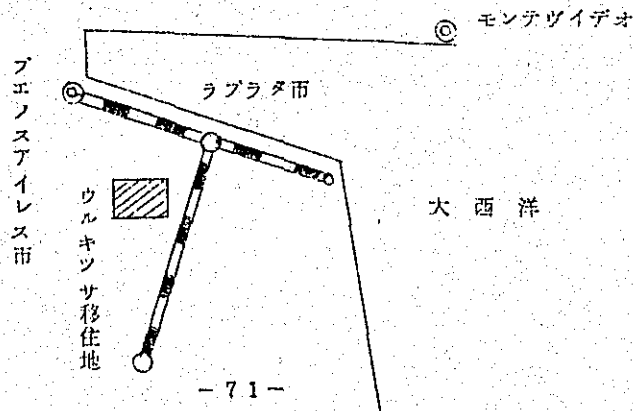
3 営 農

主作物	主として蔬菜,外に花卉,麦,トウモロコシ
営農状況	大消費地をひかえているため,生鮮 蔬菜及び花卉の生産を主とした営農を行う。

4. 特記事項及び問題点

当入植地はアルゼンチン政府農事審議会の直轄入植地で,全ロッテ数は86,日本人25戸の外,スペイン,イタリー,ポルトガル,その他各国系人が入植している国際色豊かな入植地である。

5. 地区略図



パラグアイ国

地区名	イグアス
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	アスンシオン支部

1. 地区概要

自然条件	位置	アルトパラナ県エルナンダリア郡にあり, S 25° W 55° 15'
	地形	標高平均 250 m, 地域の北端をイグアス河, 南端をモンダウ河が流れており, 両河川の沿岸部は低地なるも分譲対象地の大部分は波状台地となっている。
	地質, 土壌	玄武岩及び輝緑岩を母岩とする赤色の埴土, 低地, 湿地には黒色土壌もある。
	植生, 林相	とこはどころに草原があるが, 大部分は多くの有用樹を含む原生林もある。
気候	平均気温 14.9°C, 最高平均 21.8°C, 最低平均 8°C 冬期は降霜をみる。降雨は年間 1,285 mm	

社会条件	交通	アスンシオン市まで 295 Km, パラナ河に架るパラグアイーブラジルを結ぶ国際大橋まで 385 Km アスンシオンへの急行バス(所要時間5時間30分) 1日1往復, 普通バス1日10往復
	市場	パラグアイ国側アスンシオン市, その他(ブラジル国側, フォス・デ・イグアス, カスカベル, クリチーバ等)
	医療, 教育	診療所 1, 小学校日語小学校(2), 西語小学校(8)が地区内にある。

2. 入植状況

年 度	38	39	40	計	現地入植	合 計	定着戸数
戸 数	8 (40)	17 (82)	13 (62)	38 (184)	77 (519)	115 (703)	112戸 689名
総面積	87763Ha						
ロッテ面積	30Ha						
土地価格	一括払400,000円 分割払616,000円						
支払条件	分割払の場合 頭金40,000円 9年据置5年年賦 賦金額115,200円						

3. 営農計画

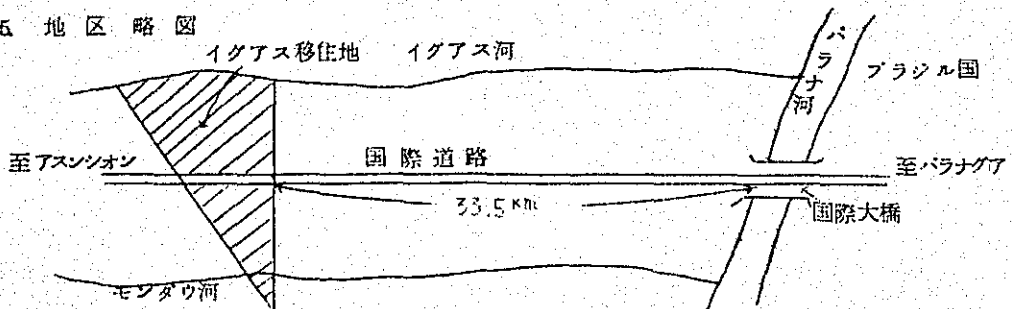
主 作 物	短期作物 棉,大豆,トウモロコシ,米,マンジョカ,馬鈴薯 永年作 柑橘
畜産	肉牛,豚,鶏
営農のすすめ方	国内市場が狭いので当初は自給体制の確立,基礎牛の飼育に重点を置き逐次永年作物の植付け,肉牛を増していく息の長い営農を行う。

4. 特記事項及び問題点

本移住地は第2トメアスとならんで重点推進移住地であり、現在全国より募集中である。イグアス試験農場に新たに畜産センターを付設し防疫、経営伝習、草地改良、人工授精サービスを行う。

本移住地を対象とした東北村建設計画、高知県物部村集団移住計画についても具体策が進められている。

5. 地区略図



地区名	チャベス
移住形態	自営開拓農
受入世話機関	アスンシオン支部

1. 地区概要

自然条件	位置	イタプア県エンカルナシオン市より北方16Km
	地形	50~100m丘陵地、地形は波状形の台地で、植民地内の小河川は台地よりかなり堀り下げられて低く森林に覆われている。
	地質、土壌	地質は輝緑岩の風化岩を母材とし、土質はテラロンアと呼ばれる肥沃なものである。
	植生、林相	大部分原始林であつたが、現在は殆んど開発されて農耕地となつている。
気候	年間平均22℃、1月16℃~38.5℃、8月12.0~30.5℃ 5~9月には降霜がある。年間雨量700~1700mm	

社会条件	交通	アスンシオン市までバス1日8回運行
	市場	エンカルナシオン市、アスンシオン市その他ポータス市、プエノスアイレス市
医療、教育		地区内に小学校が2校、医療機関としては、エンカルナシオン市の病院を利用している。

2. 入植状況

年 度	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	現地 入植	合 計	定 着 戸 数
戸 数	26 (157)	84 (562)	8 (55)	2 (12)		1 (6)						1 (4)	122 (796)	57	179	73 (458)
総面積	68,000 Ha (チャベス 国有植民地)															
ロツ面積	20 Ha															
土地価格																
支払条件																

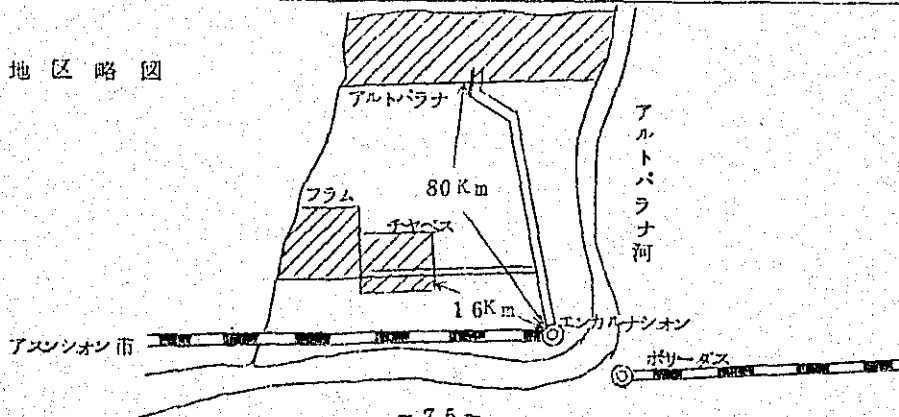
3. 営農状況

主 作 物	永年作 油桐, 柑橘 畜産 肉牛, 豚
営農状況	短期作 棉, 大豆, マンジョカ, 蔬菜 永年作 (主に油桐) が最盛期に入るまでのつなぎとして棉, 大豆, 蔬菜を栽培し, 豚肉牛導入体制準備, 永年作の増植に向つている。 油桐植付面積 1,196 Ha, 1戸平均 2.4 Ha

4. 特記事項及び問題点

バラグアイ 移住地共通の問題として国内市場が狭小であるが, 最近ボサーダスを始めアルゼンティン市場が相互開拓されつつある。アルトバラナ, フラム移住地よりエンカルナシオンに近いため近郊農業的傾向がみられる。

5. 地区略図



地区名	フ ラ ム
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	アスンシオン支部

1. 地区概要

自然条件	位置	チャベス地区に同じ
	地形 地質, 土壌 植生, 林相 気候	

社会条件	交通	チャベス地区にほぼ同じ
	市場 医療, 教育	
		診療所 1, 小学校 6, 中学校 1

2. 入植状況

年 度	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	現地 入植	合 計	定着戸数
戸 数	81 (610)	158 (991)	86 (582)	24 (131)	26 (138)			1 (7)			376 (2409)		376 (2409)	277 戸 (1581) 名
総 面 積	16,057 Ha													
ロツテ面積	25 Ha													
土地 価 格													
支 払 条 件														

3. 営農状況

主 作 物	チャベス地区に同じ
営農状況	

4. 特記事項及び問題点

5. 地区略図

チャベス地区参照

地区名	アルトバラナ
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	アスンシオン支部

1 地区概要

自然条件	位置	パラグアイ国第2の都市エンカルナシオン市より80Km
	地形	標高150~200mの波状形の緩傾斜の地帯である。
	地質, 土壌	母岩は輝緑岩で土壌はテラロシアである。 酸度は中性
	植生, 林相	原始林に覆われたところである。有用材が多い。草原は極めて少ない。
	気候	年間平均21~23°C, 最高30~32°C, 最低10°C 降霜をみることがある。年間雨量700~1700mm
		亜熱帯で乾期と雨期との明瞭な区別がない。

社会条件	交通	エンカルナシオン市まで80Km, バス1日3往復, 当団の建設した道路良好
	市場	チャベス地区に同じ
	医療, 教育	診療所1, 小学校5, 西語小学校(5), 日語小学校(5)は毎週土, 日及び 休み(3カ月)

2 入植状況

年 度	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	現地 入植	合計	定着数
戸 数					150 (796)	124 (682)	26 (127)	12 (61)	17 (89)	4 (23)	333 (1778)	26 (127)	359 (1905)	326戸 (1733)名
総面積	83,580 Ha													
ロンテ面積	30 Ha													
土地価格	一括払350,000円 分割払539,000円													
支払条件	分割払の場合 頭金35,000円 9年据置5年年賦 賦金額100,800円													

3 営農状況

主 作 物	チャベス地区に同じ
営農状況	

4 特記事項及び問題点

アスンシオン市～エンカルナシオン市～イグアス を結ぶ国内の最肥沃地帯を開発する所謂三角プランは、逐次進展しつつあり、先ずイグアス～アスンシオンを結ぶ国道第2号線の舗装を既に完了し、現在、アスンシオン、エンカルナシオン間国道第1号を舗装中である。なお、当国政府はエンカルナシオン～イグアス間の調査を実施中であるが、アルト・パラナをこの国道が貫通することになっている。

39年度実施の航空測量のあとを受けて、40年度においては実施設計等、基本計画樹立のための作業を行っている。

5 地区略図

チャベス地区参照

地区名	アマンバイ
移住形態	雇用移住者（現在独立自営農）
受入世話機関	アスンシオン支部

1 地区概要

自然条件	位置	ブラグアイ国ベドロファン市近郊
	地形	標高600～700m, 平坦, ゆるやかな起伏がある。
	地質, 土壌	黒色玄武岩を母岩とする赤褐色ラテライト化土壌で, 表層は腐植質に富み黒色を呈している。
	気候	熱帯圏に属しているが標高の関係で亜熱帯的であり, 年間平均気温19.8℃である。冬期は降霜を見ることがある。
	植生	森林地帯は有用木を混じた原始林が多い。

社会条件	交通	アスンシオン市とは航空路並びにコンセプション～コロネル・ポガード市を迂回する陸路とブラグアイ河による船便。ブラジル側はノロエステ線の終点ボンタポランより, サンパウロまで鉄道便あり。
	市場	ベドロファン市, ボンタポラン市を主としている。 特殊産物はアスンシオン市, サンパウロ市に販路がある。
	医療, 教育	ボンタポラン市に総べて完備している。日, パ, 伯の混植移住地であるため, 日系主体の小学校は1校である。 医療機関は, ベドロファン・カバリエロ市, ボンタ・ポラン市の両市を利用している。

2 入植状況

年 度	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	現地 入植	合計	定着数
戸 数	51 (402)	81 (498)		1 (4)				2 (5)		7 (32)	142 (941)	18 (167)	160 (1108)	163戸 (1107)名
総面積	2,600 Ha													
ロツテ面積	20 Ha													
土地価格														
支払条件														

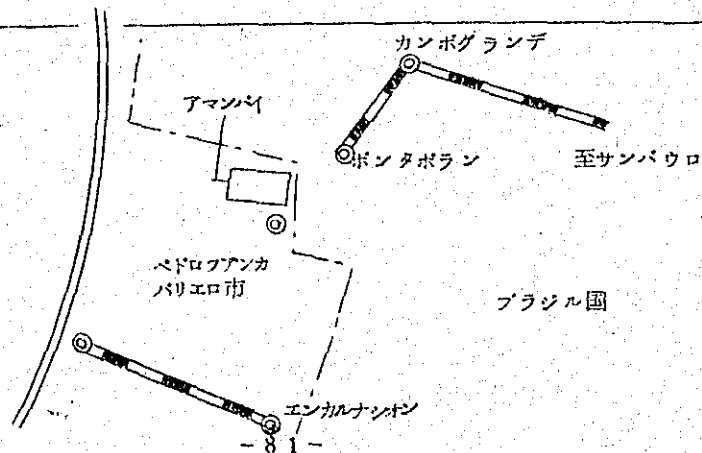
3 営農状況

主作物	永年作物 コーヒー, ハツカ, 果樹類 短期作物 大豆, 米, フェジヨン, 棉, 馬鈴薯, 小麦
営農条件	独立後4年余になり1戸当り6000本平均のコーヒーが植付られており, 土地条件の良い農家は本年度より収穫期に入り安定度は非常に高い但し霜害 のある地帯の農家営農はコーヒー1本を農家の柱としているだけに営農状況 は低い。

4 特記事項

本地域は、パラグアイ国側とはいえ、ブラジル国境に位置し、ブラジル経済圏内にあるため、労働力、日常必需品等の入手が容易で、かつ、パラグアイ国内に比して非常に安価である。

5 地区略図



ボリビア 国

地区名	サンフアン
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	サンタクルス支部

1 地区概要

自然条件	位置	S 17° 20' W 63° 50'
	地形 地質,土壌 植生,林相 気候	<p>大部分は平坦で小川により浅谷が東南から北西に走っている。</p> <p>沖積層台地で砂土, 壤土が混交, pH 4.5~5.6</p> <p>モタク, アルメンドリーリヨ, マラ・オーチヨ, タヒーボ等の熱帯樹木が繁茂し, 沼沢地を除き林相は密である。</p> <p>雨期 12~3月, 28°C, 乾期 5~9月 21°C</p> <p>年間降雨量 2000 mm</p>
社会条件	交通	<p>サンタクルス市より移住地まで約125 Kmの国道が通じているが, そのうちモンテローまで55 Kmはアスファルト舗装されており, 残り70 Kmも舗装工事中で, 今年一杯で工事完了予定である。なお, この国道はヤバカニ河を渡りコチャバンバ市に通じる計画である。</p> <p>入植地内道路は全ラツテに通じている。サンタクルス市より入植地センター(地区内12 Km地点)まで1日1往復のバス便があり又, 入植地入口までは1日3往復のバス便がある。</p>
	市場 医療, 教育	<p>サンタクルス市(人口約9.6万人)が最も近い市場であり, この他にコチャバンバ市(10万人, サンタクルス市より500 Km), ラパス市(40万人, サンタクルス市より1,000 Km)が産米の主な販売市場となつている。</p> <p>入植地センターに診療所(入院可能)があり, 日本人医師が駐在している。小学校は入植地内に6校あり, センターに中学校1校がある。</p>

2. 入植状況

年 度	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	現地 入植	合計	定着数
戸 数	14 (87)		65 (363)	67 (325)	(1) (447)	77 (307)	53 (307)		16 (80)		1 (6)	293 (1516)	3 (6)	296 (1,622)	216 戸 (1,244) 名
総面積	35,288.54 Ha														
ロツテ面積	1戸50Ha														
土地価格	無 償														

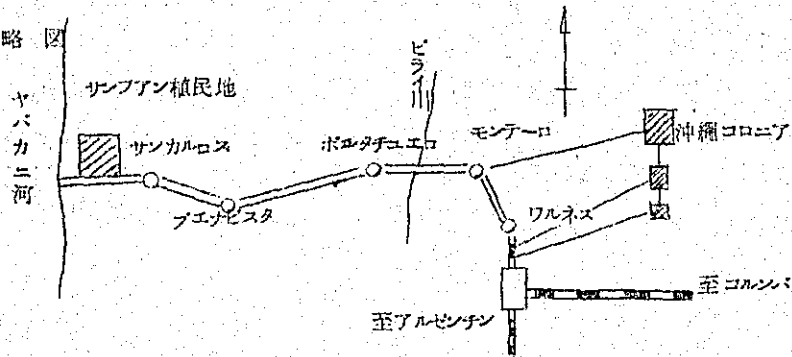
3. 営 農

主 作 物	米, トウモロコシ, 大豆, 柑橘
営 農 状 況	換金作物としての陸稲に養豚, 養鶏を併せた営農形態が現状であるが, 機械化営農と畜産振興が当面の目標である。

4. 特記事項及び問題点

道 路	既成道路の本格的改修工事をすでに開始しており, 排水路工事も着工の運びとなつている。
営 農	今までの焼畑農法を打破するため, ブルドーザー, トラクターによる機械化営農に移行する段階に来ており, すでに日本からの交付金によるブルドーザーも現地に到着し, 早晩これが実施の予定である。この機械化による耕地造成に併行し, 家畜の積極的導入を図り, 有畜, 多角農業の方向に向つている。

5. 地区略図



ドミニカ国

地区名	ダハボン
移住形態	自営開拓農（一部借地を併営）
受入世話機関	サント・ドミンゴ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	ダハボン県ラ・ビビア
	地形	標高50m以下、一部小丘を除き概ね平坦であるが水利上、南から北にかすかな傾斜をなしている。地区東、西側に河があり、西側のマサクレ河沿いは浸水をうけ易い低地となつている。
	地質、土壌	酸性暗色の壤壤土または壤土であるが、特に河沿低地帯は肥沃である。
	植生、林相	樹木が繁茂しているが、河沿より離れるに従い乾燥地帯特有の幹の細い葉の小さい灌木林となつている。
気候	年平均25.9°C，最高28.4°C，最低22.0°Cである。年間1,200～1,300mmで1～3月は乾期で降雨は極端に少ない。	

社会条件	交通	地区より東方2.5Kmにダハボン・モンテクリステイ間のアスファルト道路で連絡しており、これらの町へは移住地から随時乗合タクシーが連絡している。ダハボンまで6.5Km，モンテクリステイ市まで27.5Km。
	市場	ダハボン市及びサンチャゴ市（人口16万，地区西方150Km）が主な市場。
	医療、教育	移住地に小学校、ダハボン町に小中学校がある。医療機関は、ダハボン町に国立病院及び開業医数名があり、日本人医師もいる。

2. 入植状況

年 度	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	現地 入植	合計	定着数
戸 数	58 (338)										58 (338)		58 (338)	31戸 135名
総面積	1,200 Ha													
ロッテ面積	各戸平均6Haを所有,その他18~24Haの借地をしている。													
土地価格	所有地はドミニカ国政府の供与による。政府の許可あれば売買可能で、価格は1HaにつきRD\$320が相場である。													

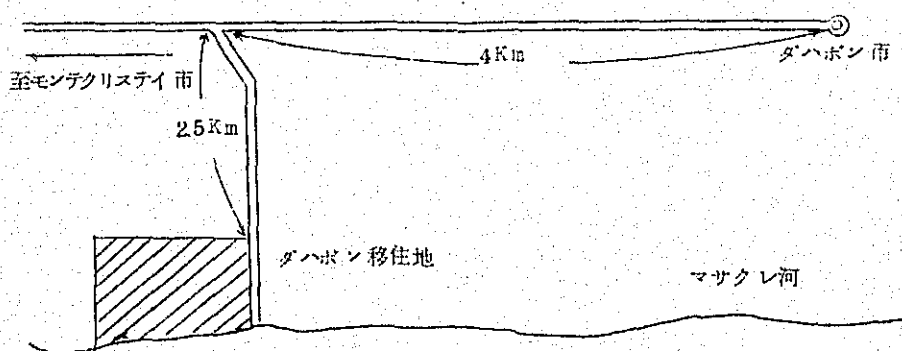
3. 営 農

主作物	水稲,その他蔬菜
営農状況	価格変動の少ない米作を中心に蔬菜栽培を加味した営農を行っている。

4. 特記事項及び問題点

<p>昭和39年7月ド国政府より地権は下付されているが、耕地拡大と水利に制限があること。 但し、水路は最近改修がなり、農業用水はかなり順調になった。</p>

5. 地区略図



地区名	コンスタンサ
移住形態	自営開拓農 (一部は借地専従)
受入世話機関	サント・ドミンゴ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	ラベガ県コンスタンサ
	地形	標高1,200m, 国土のほぼ中央の山岳地帯の盆地にあり, 地形一部を除き平坦である。
	地質, 土壌 植生, 林相	土壌は黒色又は黒褐色の粘土で一部は腐植にとみ, 酸性である。 周辺地帯は乱伐が激しく, 樹木は減少の一途をたどっているが残りの松材は良質のものである。
	気候	気候冷涼で避暑地として有名で, そのかんきよりは欧州を思わせるものがある。最高平均25.8°C, 最低平均10.9°C, 年平均18.3°C (1月が最も寒く, 8月が最も暑い) 冬季雨量少く, 夏季雨量最多である。年平均1,060mm

社会条件	交通	コンスタンサ市 (人口約11,000人), 地区はこの町外れにありハラバコア町 (人口約5,000人) 地区東北方4.8Km, サンチャゴ市 (人口約16万人) 地区北方12.1Km, ラベガ市 (人口約11万人) 地区東北方7.7Km, サント・ドミンゴ市 (人口約27万人) 地区南方18.4Km。
	市場	トラックでラベガ, サンチャゴ, サントドミンゴの市場で販売することが多く, 一部を商人に優先販売する。
	医療, 教育施設	町に小学校, 中学校, 診療所が整っている。
	その他	入植後10年で地権獲得。 3地区にわかれている。ハボネサ地区とサビーナ地区, それに最近急に多くなったテイレオ地区 (ハボネサ地区より約10Km) である。テイレオ地区は借地のみである。

2 入植状況

年 度	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	現地 入植	合 計	定着数
戸 数	30 (195)			5 (25)							35 (220)		35 (220)	19 (88)
総面積	470 Ha													
ロッテ面積	ハボネサ地区平均6 Ha , サビーナ地区平均3 Ha													
土地価格	ト国政府の供与による													
支払条件														

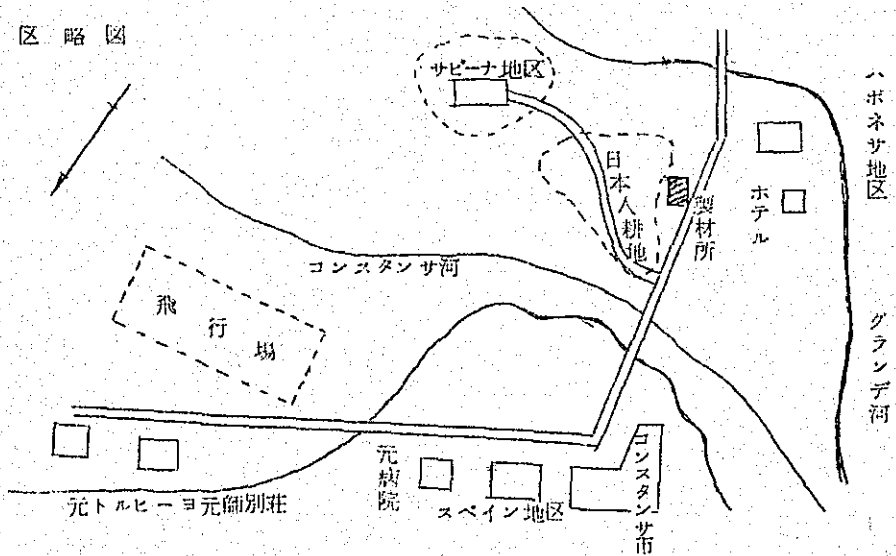
3 営 農

主 作 物	キャベツ, 赤カブ, トマト, イチゴ, ナスその他野菜
営農のすすめ方	冷涼地帯である特殊性を利用し, 多肥集約農法による野菜栽培を行なう。

4. 特記事項及び問題点

本年11月地権下付が行なわれるので, 長期営農計画を樹立する必要がある。
 野菜連作による土地肥沃度の低下。

5. 地 区 略 図



地区名	ハラバコア
移住件数	自営開拓農(借地併設)
受入世話機関	サントドミンゴ支部

1. 地区概要

自然条件	位置	ラベガ県ハラバコア
	地形	標高600m,本地区はドミニカ国中央山脈からその北側にある穀倉地帯シバオ平原に至る中間の台地にあつて北方以外の三方を丘に囲まれている。
	地質,土壌	表土40~50cmで黒褐色の壤土または堆積土で酸性。石灰岩質の礫が多く含まれている所もある。
	植生,林相	本地区付近は樹高20m以上の木からなる森林地帯であり,椰子類が多く含まれている。
社会条件	気候	最高平均29.3℃,最低平均16.3℃,年平均22.8℃ 雨量年平均1,456mm
	交通	サントドミンゴ市北北西160Km,サンチャゴ市南南東60Km ラベガ市北西29Km,ハラバコア町南方1Km
社会条件	市場	コンスタンサと同じ
	医療,教育	ハラバコア地区に病院,高校までの学校がある。

2 入植状況

年 度	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	現地 入植	合計	定着数
戸 数		13 (68)	3 (17)	(2)				(2)		(1)	16 (90)		16 (90)	18 戸 (90) 名
総面積	900 Ha													
ロッテ面積	一戸平均5 Ha 弱, 他に借地する者が多い。													
土地価格	ドミニカ国政府の供与による。政府の許可が出れば売買可能で, 価格は1 Ha 当り RD \$ 300 位													

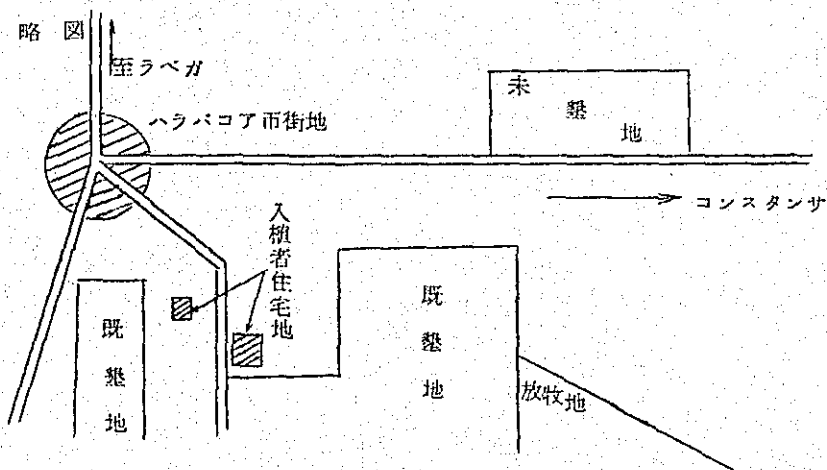
3 営 農

主 作 物	米, トマト, その他野菜
営農状況	安定作物である米を一定面積作付し, 後は市場価格をにらみ合せながら投機的なトマト, 野菜栽培を行っている。

4. 特記事項及び問題点

<p>地権の確保 (入植後10年後に地権下付)</p> <p>土地拡大がほとんど不可能, 借地にも依存せざるを得ない。</p> <p>ドミニカ人入植者との接触, 水の配分問題についてトラブルの発生は殆んどみられない。</p>

5 地区略図



調査資料 69

集団移住地現況

昭和41年改訂版

昭和41年11月

海外移住事業団編

東京都新宿区本塩町8の2 Tel(359)8281

スピード印刷株式会社

東京都港区西新橋1の19の6 Tel(591)0056

6
2
E
LIB